ISSN 2187-8730

平成２７年版
森林総合研究所北海道支所
年　　報

Annual Report 2015

国立研究開発法人森林総合研究所北海道支所

Hokkaido Research Center
Forestry and Forest Products Research Institute

まえがき

森林総合研究所は、「森林・林業・木材産業に係わる研究を通じて、豊かで多様な森林の恵みを生かした循環型社会の形成に努め、人類の持続可能な発展に寄与する」とのミッションを掲げ、森林・林業・木材産業に関する総合的研究機関としてその役割を果たすべく努力をして参りました。平成 23 年 4 月に始まった第 3 期中期計画（5 カ年）をスタートさせ、26 年度はその 4 年目にあたります。

我が国の森林林業施策の方向性について、21 年 12 月に農林水産省から森林・林業再生プランが出され、22 年 11 月にその実現に向けた具体的な方策をとりまとめた「森林・林業の再生に向けた改革の姿」が示されました。研究機関は、その実現に向け積極的に科学技術的なサポートをしていくことが求められております。その中で、北海道支所は、北方森林の自然力を高度に活用した管理技術の確立を柱として掲げ、これまで積極的に研究を推進してきました。また第 3 期中期計画においては、産学官連携の推進、研究所で得られた研究成果の社会還元を今まで以上に図っているところです。

その取り組み例として 26 年度には、従来は本所主催で行ってきた「国際生物多様性の日記念シンポジウム」を北海道支所主催により札幌で開催（4 月）したほか、子供達に科学の面白さを伝える「サイエンスパーク」への出展（8 月）、農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「先進機械を活用した伐採・造林一貫システムによる低コスト人工林管理技術の開発」の現地検討会（9 月）、さらに札幌大学と連携した「合同公開講座」（3 月）などを行ってきました。もとより十全とは申せませんが、研究を行う意義を皆様にお伝えし、その成果を利用していただくため、今後いっそうの努力をしていくつもりです。

本報告書は、平成 26 年度に北海道支所で行った研究活動、業務の概要をまとめたものです。北海道支所は 2008 年に創立 100 周年を迎えた長い歴史をもつ森林、林業に関する試験研究機関として歩んできました。本年度の報告書にも、上記のような林業研究はもとより、森林の公益的機能を解明し、活用する、様々な研究成果が含まれています。ご一読いただき、研究内容に関するご質問、ご要望、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

平成 28 年 3 月

森林総合研究所北海道支所長　牧野俊一

平成 27 年版森林総合研究所北海道支所年報
目　　次

Ⅰ．森林総合研究所研究課題一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
Ⅱ．産学官連携報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
Ⅲ．広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
Ⅳ．研究業績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
Ⅴ．資料
　１．会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
　２．諸行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
　３．その他の諸会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
　４．職員の研修・講習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
　５．受託出張・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
　６．外国出張・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
　７．研修生の受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
　８．来訪者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
　９．広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
１０．図書の収集・利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
１１．固定試験地・収穫試験地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
１２．羊ヶ丘実験林の試験林一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
１３．羊ヶ丘の気象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
Ⅵ．総務
　１．沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
　２．土地・施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
　３．組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
　４．職員の異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
　５．職員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
　６．事業予算額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０

Ⅰ．森林総合研究所課題一覧

課題番号	重点課題 研究課題群 研究課題名	研究機関（年度）	課題責任者 北海道支所以外の者は所属を括弧書き	支所担当者	予算科目		
A	**地域に対応した多様な森林管理技術の開発**		田中浩（研究COD）				
A1	**多様な施業システムに対応した森林管理技術の開発**		梶本卓也（領域長）				
A111	コンテナ苗による新たな更新技術の開発	23 ～ 27	山田健（機械技術研究室長）	上村章	事業費		一般研究費
A112	多様な森林施業の確立に向けた樹木の成長管理手法の開発	23 ～ 27	齊藤哲（物質生産研究室長）	韓慶民 関剛 上村章 原山　尚徳	事業費		一般研究費
A113	健全な物質循環維持のための診断指標の開発	23 ～ 27	平井敬三（養分動態研究室長）	相澤州平 橋本徹	事業費		一般研究費
A1P06	コンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の実証研究	26 ～ 27	田中浩（研究COD）	原山尚徳	政府外受託事業費	（独）農業・食品産業技術総合研究機構　生物系特定産業技術研究支援センター	攻めの農林水産業の革新的技術緊急展開事業
A11S10	養分制限を解除したウダイカンバにおけるマスティング資源の配備様式	23　～27	伊藤江利子	伊藤江利子	科学研究費補助金		基盤C
A11S15	間伐遅れと窒素飽和の複合作用が森林土壌の炭素蓄積量に及ぼす影響の解明	24 ～ 27	相澤州平	相澤州平 伊藤江利子	科学研究費補助金		基盤C
A11S19	林業機械の走行が林床の植生発達と樹木の更新に与える影響の解明	25 ～ 27	倉本 惠生	倉本惠生 飯田滋生 橋本徹	科学研究費補助金		基盤C
A123	北方育成天然林の資源有効利用に向けた施業管理技術の開発	23 ～ 27	田中信行	北村系子 石橋聡 飯田滋生 金指あや子 関剛 倉本惠生 津山幾太郎 尾崎研一 佐山勝彦 松浦友紀子 八巻一成 古家直行	事業費		一般研究費
A2	**森林の機能発揮のための森林資源情報の活用技術の開発**		佐野真（領域長）				
A2P04	低コストな森林情報把握技術の開発	25　～29	佐野真（領域長）	古家直行	政府委託事業費	農林水産省（農林水産技術会議事務局）	委託プロジェクト
A211	多様な森林機能の評価・配置手法の開発	23 ～ 27	鷹尾元（チーム長）	石橋聡 八巻一成 古家直行	事業費		一般研究費
A21S29	北海道太平洋沿岸の海霧を考慮した気候的乾湿度に対する海浜樹木の環境応答	26　～28	伊藤江利子	伊藤江利子	科学研究費補助金		基盤C（分担）
B	**国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発**		清野嘉之（研究COD）				
B1	**路網整備と機械化等による素材生産技術の開発**		陣川雅樹（領域長）				
B1P01	緩中傾斜地に適した低コスト生産システムの開発	23 ～ 26	牧野俊一	山口岳広 石橋聡 嶋瀬拓也 飯田滋生 倉本惠生 相澤州平 上村章 橋本徹 伊藤江利子 原山尚徳 古家直行	事業費		特別研究費（交付金プロ1）
B1P03	先進機械を活用した伐採・造林一貫一貫システムによる低コスト人工林管理技術の開発	25 ～ 27	佐々木尚三	倉本惠生 津山幾太郎 上村章 伊藤江利子 原山尚徳	政府委託事業	農林水産省（農林水産技術会議事務局）	農食研事業
B2	**国産材の効率的な供給のための林業経営・流通システムの開発**		山田茂樹（領域長）				
B2P02	木材需給調整手法の解明と新たな原木流通システムの提案	25　～27	久保山裕史（林業システム研究室長）	嶋瀬拓也	事業費		特別研究費（交付金プロ）
B211	木材利用拡大に向けた林業振興のための条件と推進方策の解明	23 ～ 25	岡裕泰（チーム長）	嶋瀬拓也	事業費		一般研究費
B21S11	製紙資本における多角化状況の違いが企業自身及び林業・木材産業の発展に与えた影響	25　～29	嶋瀬　拓也		科学研究費補助金		基盤C
B21S14	コモンズ利用とネットワーク変容の相互連関に関する比較歴史制度分析	25　～27	林　雅秀（東北支所）	八巻一成	科学研究費補助金		萌芽（分担）
D	**新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発**		木口実（研究COD）				
D1	**木質バイオマスの安定供給と地域利用システムの構築**		陣川雅樹（領域長）				
D111	北海道における木質バイオマス資源作物の生産促進技術の開発	23 ～ 27	韓慶民	山口岳広 韓慶民 関剛 上村章 伊藤江利子 原山尚徳 石原誠 松浦友紀子 古家直行	一般研究費		
D11S02	バイオマス造林樹種ヤナギの高い二酸化炭素吸収能の機構解明	24 ～ 26	上村 章	上村章 原山尚徳	科学研究費補助金		基盤C

E	**森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発**		松本光朗(研究COD)					
E1	**炭素動態観測手法の精緻化と温暖化適応及び緩和技術の開発**		荒木誠(温暖化対応推進拠点長)					
E1P02	森林吸収量把握システムの実用化に関する研究	15 ～27	金子真司(領域長)	相澤州平	政府委託事業	農林水産省(林野庁)	森林吸収源インベントリ情報整備事業	
E1P06	森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発	22 ～26	松本光朗(研究COD)	韓慶民 石橋聡 嶋瀬拓也 上村章 橋本徹 原山尚徳 古家直行	政府委託事業	農林水産省(農林水産技術会議事務局)	委託プロジェクト	
E1P07	地球温暖化が日本を含む東アジアの自然植生に及ぼす影響の定量的評価	22 ～26	田中信行	津山幾太郎	政府委託事業	環境省	環境研究総合推進費	
E1P08	センサーネットワーク化と自動解析化による陸域生態系の炭素循環変動把握の精緻化に関する研究	24 ～27	山野井克己	山野井克己 溝口康子	政府委託事業	環境省	地球一括	
E111	タワー観測を用いた群落炭素収支機能等を表すパラメータセットの構築と評価	23 ～ 25	中井裕一郎(気象研究室長)	山野井克己 溝口康子	一般研究費			
E11S15	気候温暖化がシダ植物の種多様性に与える影響の予測と検出	23 ～26	田中信行	田中信行	科学研究費補助金		基盤B(分担)	
E11S21	林床植物の生物多様性が土壌CO2フラックスに与える影響の評価	24 ～26	橋本徹	橋本徹	科学研究費補助金		基盤C	
E2	**森林減少・森林劣化の評価手法と対策技術の開発**		新山馨(国際連携推進拠点長)					
E2P05	REDD推進体制整備に関する研究	22 ～26	荒木誠(温暖化対応推進拠点長)	伊藤江利子	政府補助金	農林水産省(林野庁)	国際林業協力事業	
E2P06	高精度リモートセンシングによるアジア地域熱帯林計測技術の高度化	23 ～26	鷹尾元(チーム長)	古家直行	政府委託事業	農林水産省(農林水産技術会議事務局)	委託プロジェクト	
F	**気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発**		高橋正通(研究COD)					
F1	**環境変動・施業等が水資源・水質に与える影響評価技術の開発**		金子真司(領域長)					
F1P04	地球温暖化が森林及び林業分野に与える影響評価と適応技術の開発	22 ～26	高橋正通(研究COD)	山野井克己 溝口康子 尾崎研一	政府委託事業	農林水産省(農林水産技術会議事務局)	委託プロジェクト	
F1P05	アジア地域熱帯林における森林変動の定量評価とシミュレーションモデルの開発	23 ～26	玉井幸治(水保全研究室長)	伊藤江利子	政府委託事業	農林水産省(農林水産技術会議事務局)	委託プロジェクト	
F1P12	森林流域からの水資源供給量に関わる気候変動の影響評価	25 ～ 29	玉井幸治(水保全研究室長)	延廣竜彦	政府委託事業	農林水産省(農林水産技術会議事務局)	委託プロジェクト	
F111	森林における水文過程の変動予測手法の開発	23 ～ 25	玉井幸治(水保全研究室長)	相澤州平 延廣竜彦	事業費		一般研究費	
F11S22	森林生態系の土壌に沈着したセシウム137の分布の長期変動予測	25 ～ 27	志知幸治(土壌資源研究室)	伊藤江利子	科学研究費補助金		基盤B(分担)	
G	**森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発**		小泉透(研究COD)					
G1	**シカ等生物による被害軽減・共存技術の開発**		佐橋憲生(領域長)					
G111	生態情報を利用した環境低負荷型広域病虫害管理技術の開発	23 ～ 27	佐橋憲生(領域長)	石原誠	事業費		一般研究費	
G2	**生物多様性を保全するための森林管理・利用技術の開発**		伊藤賢介(領域長)					
G2P11	人工林の保残伐がもたらす生態系サービスを大規模実証実験で明らかにする	25 ～29	尾崎研一	尾崎研一	科学研究費補助金		基盤A	
G212	野生動物の種多様性の観測技術および保全技術の開発	23 ～ 25	堀野眞一(鳥獣生態研究室長)	平川浩文	事業費		一般研究費	
G213	森林の生物多様性の質と機能の評価手法の開発	23 ～ 25	長谷川元洋(四国支所)	尾崎研一 佐山勝彦	事業費		一般研究費	
G21S34	ブナ林堅果豊凶メカニズムの解明:花芽形成期における資源の需給バランスの役割	25 ～ 28	韓慶民	韓慶民	科学研究費補助金		基盤B	
G21S38	島嶼における北限ブナ林の植生および遺伝変異の地理的構造と地史的な成立過程	25 ～ 27	北村系子	北村系子	科学研究費補助金		基盤C(分担)	
G21S39	人工林において生物多様性保全と木材生産は両立できるか？	25 ～ 27	尾崎研一	尾崎　研一 佐山　勝彦	政府外委託事業	(地独)道総研	住友財団(分担)	
G21S40	他種スズメバチに社会寄生するチャイロスズメバチの分布域と生息密度の増大の要因解明	25 ～ 27	佐山勝彦	佐山勝彦	科学研究費補助金		基盤C	
G21S46	開花遺伝子発現量と土壌・植物養分條件の統合分析による一斉開花機構の解明	26 ～ 28	韓慶民	韓慶民	科学研究費補助金		基盤A(分担)	
I	**森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発**		河原孝行(研究COD)					
I2	**ゲノム情報を活用した森林植物の遺伝的多様性の解明と保全・評価技術の開発**		永光輝義(生態遺伝研)					
I211	ゲノム情報に基づく森林植物の遺伝的多様性の解明と評価手法の開発	23 ～ 25	永光輝義(生態遺伝研)	金指あや子	事業費		一般研究費	
I21S07	一回結実性ササ属の開花メカニズムと花成遺伝子発現様式の解明	23 ～26	北村系子	北村系子	科学研究費補助金		基盤B	
I21S20	北方針葉樹における標高適応に関わるフェノロジーの分子遺伝機構	25 ～27	上野真義(針葉樹ゲノム担当T長)	北村系子	科学研究費補助金		基盤B(分担)	
K	**基盤事業**							
K101	森林水文モニタリング	23 ～ 27	落合博貴(研究COD)	山野井克己	事業費		基盤事業費	
K103	森林の成長・動態に関する長期モニタリング	23 ～ 27	田中浩(領域長)	飯田滋生	事業費		基盤事業費	
K105	降雨渓流水質モニタリング	23 ～ 25	金子真司(領域長)	相澤洲平	事業費		基盤事業費	

Ⅱ．産学官連携報告

（無し）

Ⅲ．広報活動

名称：国際生物多様性記念シンポジウム「森の木を伐りながら生き物を守る～木材生産と生物多様性保全の両立に向けて～」
日時：平成26年4月26日(土)　13:00～17:00
参加者：約130名
主催：北海道支所
概要：林業と生物多様性保全とは、決して対立するものではありませんが、どのような施業をすれば、木材生産と、生物多様性などの公益的機能とを最大限に発揮させられるでしょうか。シンポジウム前半では、昨年開始されたわが国初となる、保残伐の大規模実験について、試験に関わる三名の演者から行いました。後半では、環境や生物多様性に配慮した林業や森林利用について、国内で先進的な取り組みを行っている林業経営者、森林の生物多様性に関する世界的な研究動向や市民参加型の森林利用について、それぞれ専門の研究者が講演を行うとともに、保残伐実験への期待と要望が語られました

開会挨拶（牧野支所長）

会場風景

名称：平成26年度森林総合研究所（北海道支所・林木育種センター北海道育種場・森林農地整備センター札幌水源林整備事務所）一般公開
日時：平成26年6月28日(土)　9:30～15:30
参加者：429名
主催：北海道支所・林木育種センター北海道育種場・森林農地整備センター札幌水源林整備事務所
概要：一般の方が普段は立ち入れない実験林内を案内したエコツアーや、普段利用していただいている樹木園内のガイドでは、参加者から多くの質問を受けました。
北海道育種場は「挿し木体験コーナー」を、札幌水源林整備事務所は「押し葉のしおり作り体験コーナー」を担当し、多数の参加をいただきました。

実験林エコツアー

樹木園ガイド

挿し木体験コーナー

押し葉のしおり作り体験コーナー

名称：第１回森林講座（通算第64回）
日時：平成26年6月28日(土)　12:30～13:30
場所：北海道支所２階　大会議室
演題（演者）:「野生生物観測ことはじめ」（平川浩文）
参加者：約20名
概要：現在実施されている野生生物観測について分かりやすく
　　解説しました。

森林講座風景

名称：平成26年度森林総合研究所　北海道地域研究成果発表会
日時：平成26年10月17日(金)　13:30～16:00
参加者：101名
場所：札幌市男女共同参画センター　3階ホール（札幌エルプラザ内）
テーマ：「動く森林－動態・更新と長期変動－」

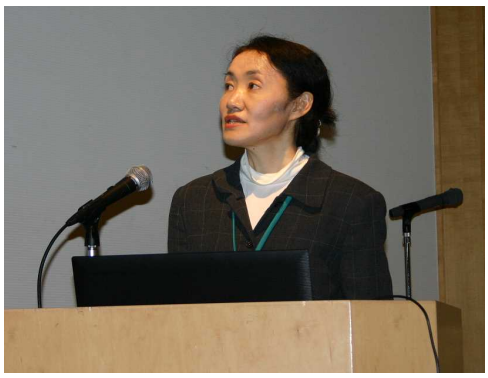
発表１：「長期気候変動と森林」
発表者：津山幾太郎
［要旨］　これまでの長い歴史の中で、地球環境は大きな変化を繰り返してきました。例えば、第四紀更新世と呼ばれる約 258 万年から 1.17 万年前にかけては、現在より寒冷・乾燥した気候の氷期と、温暖・湿潤な間氷期を周期的に繰り返していたと考えられています。こうした環境の変化に対応し、植物の分布と、その集合体である森林の組成や構造は大きく変化していたことが、花粉や植物遺体の研究などから明らかにされています。急激な温暖化が進んでいる現在、過去の気候変化の森林への影響を明らかにし、将来の植物分布や森林の変化を推定することは、森林の管理や保全上、非常に重要です。
発表２：「年によって変動する樹木の種子生産」
発表者：関　剛
［要旨］　樹木には、年によって種子の生産量が大きく変動する種があります。例えば北海道の天然林に生育する樹種では、アカエゾマツ、エゾマツ、トドマツ、ブナ、ミズナラなどで種子の豊作・凶作が知られています。
　樹木の種子の多くは森林の上層に達する前に死亡しますが、次世代以降の森林が成立する上で必要な存在です。また、種子の中には、豊作年に一部の野生生物の食糧として重要なものがあります。このため、種子生産の豊作・凶作は、攪乱が生じた森林や森林に棲息する生物の将来に影響を及ぼすと考えられています。

発表３：「台風攪乱― CO ２収支からみた攪乱の影響と回復過程― 」
発表者：溝口康子
［要旨］ 森林では強風や冠雪によって枝が折れたり、虫害によって葉が食べられたりするなど、しばしば“攪乱”が起こっています。特に規模が大きかった場合には、森林被害として認識されます。日本では、規模の大きい自然攪乱としては台風の強風による被害があげられます。このような攪乱は、森林の二酸化炭素（CO_2）吸収・放出量にも影響を与えます。森林総合研究所では、2004 年の台風で被害に遭った羊ヶ丘実験林（写真-１）で、継続的に CO_2 収支のモニタリングを行っています。攪乱後 10 年におよぶ地道な観測研究から、その回復過程が徐々に明らかになってきています。
発表４：「洞爺丸台風風倒被害 60 年後の森林再生―長期モニタリングの意義と成果―」
発表者：石橋聡
［要旨］ 60 年前の 1954(昭和 29)年 9 月 26 ～ 27 日に北海道を襲った洞爺丸台風の暴風によって、北海道の森林は甚大な風倒被害を受けました。また、1954 年は５月にも低気圧の暴風による大きな風倒被害が発生しており、あわせると当時の年伐量の約３年半分に相当する被害量だったとされます。特にまだほとんど手つかずの原生林が多く残っていた北海道中央部大雪山系の被害は壊滅的でした。

開会挨拶（牧野支所長）

発表１（津山）

発表２（関）


発表３（溝口）

発表４（石橋）

閉会挨拶（今井場長）

名称：第2回森林講座（通算第65回・札幌大学との合同公開講座）
日時：平成28年2月25日(水)　14:50～15:50
場所：札幌大学 6102教室
参加者：70名
概要：昨年からの試みとして、札幌大学と合同で公開講座を開催しています。演者は当支所から北方林管理研究グループの八巻グループ長、札幌大学から上机准教授が担当しました。最初に八巻グループ長が行政と市民、住民との協働による自然環境保全の事例を紹介しながら、そのあり方について講義し、続いて上机准教授が住居の周辺環境が変わってしまった人々が起こした訴訟(裁判)を通して、自然環境に関わる法律の観点について講義しました。

八巻グループ長による講義（写真提供：札幌大学）

上机准教授による講演（写真提供：札幌大学）

Ⅳ．平成26年度研究業績

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
五十嵐哲也、**牧野俊一**、田中浩、正木隆	2014.06	植物の多様性の観点から人工林施業を考える－日本型「近自然施業」の可能性－	森林総合研究所研究報告、13(2):29-42
牧野俊一	2014.06	樹木と動物の共生関係	最新・樹木医の手引き(日本緑化センター;改訂4版)、305-311
牧野俊一	2014.09	研究所と自治体の共同を目指して－森林総研北海道支所と下川町の試み－	山林、1564:36-43
牧野俊一	2014.09	誘引トラップを用いたスズメバチ類のモニタリング法	昆虫と自然、49(10):16-19
山浦悠一、佐藤保、滝久智、**牧野俊一**	2014.12	生物多様性の第二の危機を緩和する林業活動	森林と林業、2014年12月号:14-15
牧野俊一	2014.12	地方の研究紹介－北海道支所－	季刊森林総研、27:18
牧野俊一	2014.12	休刊にあたって	北方林業、66(11・12):2
牧野俊一	2015.01	スズメバチ創設女王による熱生産	2014年度日本応用動物昆虫学会・日本昆虫学会共催北海道支部大会講演要旨、5
近藤洋史、山中武彦(農業環境技術研究所)、斉藤正一(山形県森林研究研修センター)、加賀谷悦子、**牧野俊一**	2015.01	Development of a hazard map for oak wilt disease in Japan(日本におけるナラ枯れ被害発生ハザードマップの開発)	Agricultural and Forest Entomology、DOI: 10.1111/afe.12098
佐々木尚三	2014.03	北海道における作業システムについて	H26北の国・森林づくり発表集
佐々木尚三	2014.06	北海道下川町における一貫作業システム	機械化林業、727:1-5
山田健、山口浩和、宇都木玄、**佐々木尚三**、**倉本惠生**、斉藤丈寛(下川町)	2014.10	伐採跡地におけるクラッシャ地拵の作業能率	森林利用学会第21回研究発表会要旨集、21:14
佐々木尚三	2014.10	ハーベスタ作業とその未来	機械化林業、731:11-16
佐々木尚三	2014.10	下川町における伐採・造林一貫作業システムの構築－主伐・再造林の低コスト化を目指して－	北の森林だより、13
酒井明香(道総研林試)、寺田文子(道総研林試)、渡辺一郎(道総研林試)、津田高明(道総研林試)、**佐々木尚三**	2014.11	北海道における機械作業システムと林地残材率を考慮した林地残材集荷可能量の推定	北方森林学会研究発表会要旨
南達彦(北海道森林管理局)、**佐々木尚三**	2014.12	北海道での コンテナ苗植栽試験について～コンテナ苗成長状況 における一考察 ～	北海道の林木育種、57(1):27-31
山田健、山口浩和、宇都木玄、**佐々木尚三**、**倉本惠生**、斉藤丈寛(下川町)	2015.03	造林作業の機械化について	第126回日本森林学会大会学術講演集、126:70
佐々木尚三	2015.03	ミヤタさんを偲んで	森林利用学会誌、30(1):53-54
佃猛司(北海道大学)、小泉章夫(北海道大学)、澤田圭(北海道大学)、佐々木義久(北海道大学)、**佐々木尚三**、木幡靖夫(北海道大学)	2015.03	風倒木の切断処理における跳ね返り危険度の評価	北海道大学演習林研究報告、70(1):1-8
正木隆、**田中信行**、八木橋勉、小川みふゆ(国立環境研)、田中浩、杉田久志、佐藤保、壁谷大介	2015.03	ブナ帯落葉樹林の皆伐後の天然更新の可能性を考える －林床植生と微地形の観点から－	第126回日本森林学会大会学術講演集、87
松井哲哉、**田中信行**	2015.03	地球温暖化と森林生態系	森林学への招待[増補改訂版](中村徹(編著)・筑波大学出版会)、p95-108
桃原郁夫、太田祐子、**山口岳広**、**石原誠**、高畑義啓、小坂肇、西村健、早乙女梢(鳥取大学)、土居修一(元筑波大学)	2014.05	エアサンプラーを活用した腐朽リスク解析とその応用	日本木材保存協会研究発表論文集、30:84-87
山口岳広	2014.08	亜寒帯針葉樹天然林でのストレス波速度計測による腐朽木推定とその後15年間の腐朽・衰退木の発生推移	北方林業、66(8):242-245
山口岳広	2014.12	北方林業の休刊に寄せて	北方林業、66(11・12):345
山口岳広、**倉本惠生**、**佐々木尚三**	2015.03	林業機械走行によるトドマツ根系損傷確率のモデル化	日本森林学会大会学術講演集、126:156
山口岳広	2015.03	腐朽被害	石狩川源流森林総合調査(第4次)報告書、40-55

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
河原孝行、北村系子、八巻一成、幸田泰則(北大)、志村華子(北大)、高橋英樹(北大)、庄子康(北大)、杉浦直人(熊本大)、村山誠治(礼文町)、飯野拓也(元礼文町)	2014.07	絶滅危惧種レブンアツモリソウの自生地復元・自生環境改善の取り組み	森林総合研究所平成26年版研究成果選集、52-53
並川寛司(北教大)、松井哲哉、北村系子、菊池葉香(北教大)	2015.03	島嶼における北限，奥尻島ブナ林の種組成の特徴ー道南および東北地方との比較からー	日本生態学会第62回全国大会、PA2-028
後藤晋(東大)、鐘ヶ江弘美(東大)、石塚航(北海道)、北村系子、上野真義、久本洋子(東大)、八杉公基(京大)、永野惇(京大)、工藤洋(京大)、岩田洋佳(東大)	2015.03	高標高×低標高交雑に由来するトドマツ分離集団を用いたRAD-seqによる連鎖地図構築	第126回日本森林学会大会講演要旨集、126:E07
菊池葉香(北教大)、並川寛司(北教大)、北村系子	2015.03	植栽ブナにおける更新第一世代で獲得される遺伝的多様性について	森林学会大会E01
北村系子、田中信行、津山幾太郎、松井哲哉、並川寛司(北教大)、齋藤均(黒松内町)、寺澤和彦(農大)、金指あや子、石塚航(道総研)	2015.03	新たに発見された岩内町ブナ北限集団の遺伝的多様性	第126回日本森林学会大会、E02
Qingmin Han(韓慶民)、KABEYA Daisuke(壁谷大介)、IIO Atsuhiro(飯尾淳弘・静岡大学)、INAGAKI Yoshiyuki(稲垣善之)、KAKUBARI Yoshitaka(角張嘉孝・静岡大学)	2014.03	Nitrogen storage dynamics are affected by masting events in Fagus crenata(ブナ林堅果豊凶作が窒素貯蔵動態に及ぼす影響)	Oecologia、174(3):679-687
Qingmin Han(韓慶民)、KABEYA Daisuke(壁谷大介)、INAGAKI Yoshiyuki(稲垣善之)	2014.09	Nitrogen source for seeds in masting Fagus crenata: uptake or internal storage?(ブナ林堅果生産の窒素ソースについて:土壌からの吸い上げか体内貯蔵？)	6th International symposium on physiological processes in roots of woody plants、19
Qingmin Han(韓慶民)、KAGAWA Akira(香川聡)、KABEYA Daisuke(壁谷大介)、INAGAKI Yoshiyuki(稲垣善之)	2014.11	Resource dynamics and flowering phenology in temperate forests(温帯林における資源動態および開花フェノロジー)	4th Taiwan-Japan Ecology Workshop: Latituddinal variation of ecosystem respones to environmental changes: ecosystem comparative studies、15-16
Qingmin Han(韓慶民)、KAGAWA Akira(香川聡)、KABEYA Daisuke(壁谷大介)、INAGAKI Yoshiyuki(稲垣善之)	2014.12	Carbon source for vegetative growth in Fagus crenata in masting year(豊作年におけるブナの栄養成長の炭素ソース)	BES and SFE Joint Annual Meeting 2014、53
KABEYA Daisuke(壁谷大介)、INAGAKI Yoshiyuki(稲垣善之)、NOGUCHI Kyotaro(野口享太郎)、Qingmin HAN(韓慶民)	2015.03	Does initiation of flowering change radial growth pattern in Fagus crenata?(花芽形成はブナの肥大成長パタンを変化させるか？)	日本生態学会大会講演要旨集、PA2-090
Qingmin Han(韓慶民)、INAGAKI Yoshiyuki(稲垣善之)、KABEYA Daisuke(壁谷大介)、NOGUCHI Kyotaro(野口享太郎)	2015.03	Fruiting affects nitrogen uptake and allocation in mature Fagus crenata trees(ブナ結実が窒素吸収と分配に及ぼす影響)	第62回日本生態学会大会要旨集、PA2-087
韓慶民	2015.03	資源動態アプローチによる豊凶現象の解明	第62回日本生態学会大会要旨集、生態学会大島賞受賞記念講演
石橋聡	2014.10	洞爺丸台風風倒被害60年後の森林再生ー長期モニタリングの意義と成果ー	北の森だより、13:5
高橋正義、細田和男、西園朋広、鷹尾元、齋藤英樹、石橋聡、古家直行、小谷英司	2014.10	長期継続試験データを用いたカラマツの地域的な成長差 ーカラマツ収穫試験地の地域横断的分析ー	関東森林研究、(C03)25
石橋聰(石橋聡)	2014.11	洞爺丸台風風倒被害林分の長期モニタリング	林業技術、872:30-31

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
細田和男、家原敏郎、鷹尾元、西園朋広、高橋與明、**石橋聡**、高橋正義、**古家直行**、小谷英司、田中邦宏、平田泰雅、光田靖(宮崎大学)、北原文章、近藤洋史、齋藤英樹、佐野真琴(佐野真)	2014.12	平成18～22年度に調査した収穫試験地等固定試験地の経年成長データ(収穫試験報告第25号)	森林総合研究所研究報告、13(4):225-254
石橋聰(石橋聡)	2014.12	北方林業の未来へ	北方林業、785:341
石橋聡、佐野真琴(佐野真)、鷹尾元	2015.02	支笏湖畔シシャモナイ天然林における風倒被害後の森林再生	北方森林研究、63:13-14
石橋聰(石橋聡)、**古家直行**	2015.03	2-3.森林施業	石狩川源流森林総合調査(第4次)報告書(北海道森林管理局)、33-39
石橋聰(石橋聡)	2015.03	天然更新施業による保続的木材生産の可能性－北海道東部地域における検討－	日本森林学会大会学術講演集、126:88
岩崎ちひろ(北海道大学)、渋谷正人(北海道大学)、**石橋聰(石橋聡)**、高橋正義	2015.03	北海道十勝地方のカラマツ高齢級人工林に共通する林相の特徴と長伐期施業の要件	北海道大学演習林研究報告、70(1):21-30
石橋聰(石橋聡)	2015.03	北海道中部の北方針広混交林における択伐施業による林分構造と成長の57年間の変化	森林計画学会誌、48(2):75-91
嶋瀬拓也、柿澤宏昭(北海道大農)、興梠克久(筑波大生命)	2014.07	北海道地区広域流通構想(案)	平成25年度広域流通体制確立対策事業実施報告書、:58-69
嶋瀬拓也	2014.10	先駆樹種の活用による"身軽な"林業の実現に向けて－天然更新力を活かした省力化林業の可能性	山林、1565:27-35
嶋瀬拓也	2014.11	製紙資本の多角化水準に関する国際比較―売上高世界トップ100社における製紙関連売上高比率の推移に注目して	林業経済学会2014年秋季大会発表要旨集、:A2
嶋瀬拓也	2015.02	素材生産の状況に即した林産工場の立地に関する一考察	北方森林研究、63:9-12
松本光朗、岡裕泰、外崎真理雄、恒次祐子、鹿又秀聡、**嶋瀬拓也**、光田靖(宮崎大学)、加用千裕(東京農工大学)	2015.02	将来予測から見た森林分野での温暖化緩和策のベストミックス	農林水産省平成26年度委託プロジェクト研究 気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト研究成果発表会講演集「地球温暖化の中で森林を活かす」、45
嶋瀬拓也	2015.02	北海道の木材加工・流通	平成26年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業 北海道に即した中核的林業技術者養成プログラムの開発事業 森林施業プランナー・森林総合監理士スキルアップテキスト【集約化施業・木材流通編】、:38-55
嶋瀬拓也	2015.03	わが国木材産業における近年の設備投資動向	日本森林学会大会学術講演集、126:PR0171
新山馨、**飯田滋生**、木村勝彦(福島大学)、佐藤保、田中憲蔵、八木橋勉、Azizi Ripin(マレーシア森林研究所)、Abd. Rahman Kassim(マレーシア森林研究所)	2014.06	マレーシア半島のセラヤが優占する丘陵フタバガキ林での一斉開花と乾燥	日本熱帯生態学会年次大会講演要旨集、24:23
飯田滋生、河原孝行、**倉本惠生**	2015.02	択伐が行われた針広混交林における小面積樹冠下地がきと人工根返し処理4年後の植生状況	北方森林研究、63:23-26
飯田滋生、**倉本惠生**、**相澤州平**、**橋本徹**、**伊藤江利子**、**山口岳広**、阿部俊夫	2015.03	機械作業による森林環境への影響	日本森林学会大会学術講演集、126:71
飯田滋生、**関剛**、**倉本惠生**、**津山幾太郎**、阿部真(農林水産技術会議)、松井哲哉	2015.03	森林植生	石狩川源流森林総合調査(第4次)報告書、12-28
新山馨、佐藤保、八木橋勉、田中憲蔵、**飯田滋生**、木村勝彦(福島大学)、Azizi Ripin(マレーシア森林研究所)、Abd. Rahman Kassim(マレーシア森林研究所)、小杉緑子(京都大学)	2015.03	マレー半島の低地および丘陵フタバガキ林での乾燥と一斉結実	日本森林学会大会学術講演集、126:280

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
KANAZASHI Ayako(金指あや子)、NAGAMITSU Teruyoshi(永光輝義)、SUZUKI Wajiro(鈴木和次郎・只見町ブナセンター)	2014.06	Seed dormancy and germination characteristics in relation to the regeneration of Acer pycnanthum, a vulnerable tree species in Japan(絶滅危惧種ハナノキ種子の休眠と発芽特性およびその更新戦略)	Journal of Forest Research、DOI:10.1007/s10310-014-0451-4
Teruyoshi Nagamitsu(永光輝義)、Ken-ichi Shimada(島田健一)、Ayako Kanazashi(金指あや子)	2014.11	A reciprocal transplant trial suggests a disadvantage of northward seed transfer in survival and growth of Japanese red pine (Pinus densiflora) trees	Tree Genetics & Genomes、11:813
金指あや子	2014.12	日本における希少樹種の現状と保全	樹木医学の基礎講座(海青社)、46-54(第Ⅰ部4章)
篭橋まゆみ(御嵩町オオタカと美しい自然を守る会)、篭橋いずみ(御嵩町オオタカと美しい自然を守る会)、金指あや子、菊地賢	2014.12	岐阜県御嵩町における絶滅危惧種ハナノキの自生地～現状と保全上の課題～	日本生態学会中部地区会2014年度大会講演要旨集、9
金指あや子、菊地賢、杉山正幸、石田清(弘前大学)、永光輝義、鈴木和次郎(只見町ブナセンター)	2014.12	希少樹種ハナノキの岩屋堂自生地(岐阜県中津川市千旦林)についてー最大規模の個体群の成立とその保全ー	保全生態学研究、19:139-149
菊地賢、金指あや子	2014.12	絶滅危惧種ハナノキが直面する新たな危機	日本生態学会中部地区会2014年度大会講演要旨集、p2
菊地賢、金指あや子、大曽根陽子(森林総研PD)、澤田與之(シデコブシと自然が好きな会)、野村勝重(みどりの会)	2015.02	絶滅危惧種ハナノキの自生地域における近縁外来種アメリカハナノキの植栽混入	日本緑化工学会誌、40
永光輝義、島田健一、金指あや子	2015.03	相互移植試験が示唆する北方 種苗移動によるアカマツの生存と 成長の低下	第126回日本森林学会大会、E08
菊地賢、金指あや子、大曽根陽子(森林総研PD)、澤田與之(シデコブシと自然が好きな会)、野村勝重(みどりの会)	2015.03	絶滅危惧種ハナノキの自生地域における近縁外来種アメリカハナノキの植栽混入	第126回日本森林学会大会学術講演集、p282
関剛、石橋聡、山口岳広	2014.07	第125回日本森林学会見聞録	北方林業、66(6-7):47-50
関剛	2014.10	年によって変動する樹木の種子生産	北の森だより、13:3
正木隆、大住克博(鳥取大)、関剛、森茂太(山形大)、梶本卓也、櫃間岳、八木橋勉、柴田銃江、野口麻穂子	2015.03	添畑沢スギ間伐試験地における45年生から104年生までの長期成長データ	森林総合研究所研究報告、14:65-72
SEKI Takeshi(関剛)	2015.03	Age structure of branches influencing crown-top expansion in Abies sachalinensis (トドマツにおける樹冠先端部の拡大に影響を与える枝の年齢構成)	日本生態学会大会講演要旨集、62:PA2-055
関剛	2015.03	トドマツにおける、当年枝伸長初期の温度環境の年次間変動について	日本森林学会大会学術講演集、126:P2B103
倉本惠生、山口岳広、佐々木尚三	2014.04	林内走行機械による根の損傷を減らすためにートドマツ林内の走行試験から考えるー	機械化林業、725:1-6
阿部俊夫、倉本惠生、山野井克己	2014.06	北海道の平坦な河畔林における高所作業車および落葉模型を用いたヤナギ落葉散布範囲の解明	日本森林学会誌、96(3):132-140
倉本惠生	2014.09	シラカバ花粉症の原因となる木の花粉生産をさぐるーもうひとつの主役ウダイカンバー	日本花粉学会公開講演会要旨、55:5
TAKAHASHI Masayoshi(高橋正義)、KURAMOTO Shigeo(倉本惠生)、ISHIBASHI Satoshi(石橋聡)、IIDA Shigeo(飯田滋生)、FURUYA Naoyuki(古家直行)	2014.10	Rehabilitation process of natural mixed forest after wind disturbance by typhoon in northern Hokkaido, Japan (北北海道における台風による風害被害からの針広混交天然林における回復過程)	The International Forestry Review、16(5):194
倉本惠生、木村徳志(東京大学北海道演習林)	2015.02	タイムインターバルカメラによるカバノキ類の開花・開葉期推定ーフェノロジー観察との比較	北方森林研究、63:51-52
友田敦(北海道森林管理局森林技術・支援センター)、倉本惠生	2015.02	天然林での樹種の多様化を図る更新方法の開発	平成26年度 北の国・森林づくり技術交流発表会発表集、28-32

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
倉本惠生、飯田滋生、津山幾太郎、関剛、石橋聰、南達彦(北海道森林管理局)、友田敦(北海道森林管理局)、横山誠二(北海道森林管理局)、真庭利明(北海道森林管理局)、藤岡裕之(北海道森林管理局)	2015.03	天然林択伐後の更新を促す新たな地表処理作業「小面積樹冠下地がき」と「人工根返し」の実証試験	日本森林学会大会学術講演集、126:86
稲垣善之、宮本和樹、酒井敦、酒井寿夫、倉本惠生、小谷英司、野口麻穂子、山田毅、川崎達郎	2015.03	高知市のヒノキ人工林における葉および幹生産の22年間の変動	日本生態学会大会講演要旨集、62:PA2-225
鈴木秀典、中澤昌彦、上村巧、倉本惠生、津山幾太郎、佐々木尚三	2015.03	路網整備と車両系伐採システムのあり方	日本森林学会大会学術講演集、126:T3-1
中澤昌彦、鈴木秀典、上村巧、山口浩和、倉本惠生、津山幾太郎、佐々木尚三、宇都木玄、斉藤丈寛(下川町)	2015.03	緩傾斜地におけるCTL伐採システムの皆伐生産性	日本森林学会大会学術講演集、126:P1A056
NAKAO Katsuhiro(中尾勝洋・森林総研PD)、HIGA Motoki(比嘉基紀・高知大)、TSUYAMA Ikutaro(津山幾太郎)、Lin C.-T.(台湾大学)、Sun S.-T.(台湾大学)、Lin J.-R.(台湾大学)、Chiou C.-R.(台湾大学)、Chen T.-Y.(宣蘭大学)、MATSUI Tetsuya(松井哲哉)、TANAKA Nobuyuki(田中信行)	2014.06	Changes in the potential habitats of 10 dominant evergreen broad-leaved tree species in the Taiwan-Japan archipelago.(日本-台湾に共通分布する常緑樹10種への温暖化影響評価)	Plant Ecology、215(6):639-650
TSUYAMA Ikutaro(津山幾太郎)、HIGA Motoki(比嘉基紀・高知大)、NAKAO Katsuhiro(中尾勝洋・森林総研PD)、MATSUI Tetsuya(松井哲哉)、HORIKAWA Masahiro(堀川真弘・TOYOTA)、TANAKA Nobuyuki(田中信行)	2014.07	How will subalpine conifer distributions affected by climate change? Impact assessment for spatial conservation planning.(温暖化による亜高山性針葉樹の分布への影響－保全計画の策定に向けて－)	Regional Environmental Change、DOI:10.1007/s10113-014-0641-9
HOTTA Masanobu(堀田昌伸・長野県環境保全研究所)、TSUYAMA Ikutaro(津山幾太郎)、NAKAO Katsuhiro(中尾勝洋・森林総研PD)、OZEKI Masaaki(尾関雅章・長野県環境保全研究所)、HIGA Motoki(比嘉基紀・高知大)、KOMINAMI Yuuji(小南祐志)、MATSUI Tetsuya(松井哲哉)、TANAKA Nobuyuki(田中信行)	2014.08	Impacts of climate change on the alpine habitat of the rock ptarmigan in the Hida Mountains, central Japan.(温暖化によるライチョウの生息域への影響:北アルプスの場合)	The 26th International Ornithological Congress (第26回国際鳥類学会), 東京、ポスターp04-085
Tsuyama I.(津山幾太郎)	2014.10	Sasa kurilensis (Rupr.) Makino & Shibata, Tsuga diversifolia (Maxim.) Mast.(コメツガ, チシマザサ)	Important plants of east Asia: plants tells stories. (East Asia Biodiversity Conservation Network ed.) Korea National Arboretum, Pocheon, p.194-195, p.210-211
中尾勝洋(森林総研PD)、津山幾太郎、堀川真弘(TOYOTA)	2014.11	九州地方における植物種のホットスポットはどこか？ニッチベース分布予測モデルによる全種と低頻度種の比較	環境情報科学学術研究論文集、28:31-36
堀田昌伸(長野保全研)、津山幾太郎、中尾勝洋(森林総研PD)、尾関雅章(長野保全研)、比嘉基紀(高知大)、小南祐志、松井哲哉、安田正次、田中信行	2014.12	温暖化による北アルプス中南部のライチョウ生息域への影響評価	2014年度生態学会中部地区大会講演要旨集、p.29

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
松井哲哉、中尾勝洋(森林総研PD)、**津山幾太郎**、比嘉基紀(高知大学)、**田中信行**	2015.01	Q2 地球温暖化は森林にどのような影響をもたらすのですか？	地球温暖化と森をめぐる8つの質問、3-4
内山憲太郎、藤井沙耶花(環境省)、**津山幾太郎**、鈴木節子、森口喜成(新潟大自然科学)、木村恵、津村義彦(筑波大学生命環境系)	2015.03	モミ属3種における浸透交雑の検証	第126回日本森林学会大会講演要旨集、126:E03
松井哲哉、中尾勝洋(森林総研PD)、安田正次(森林総研PD)、中園悦子(森林総研非常勤)、**津山幾太郎**、大橋春香(森林総研PD)、大丸裕武、小南裕志、**田中信行**	2015.03	気候変動による森林植生への影響評価・検出および適応策の事例	第126回日本森林学会大会、P2B151
松井哲哉、中尾勝洋(森林総研PD)、**津山幾太郎**、大橋春香(森林総研PD)、小出大(森林総研非常勤)、中園悦子(森林総研非常勤)、安田正次(森林総研PD)、小南裕志、大丸裕武、**田中信行**	2015.03	地球温暖化が日本の天然林植生分布に及ぼす影響の評価	生研フォーラム論文集、23:69-70
中尾勝洋(森林総研PD)、松井哲哉、**津山幾太郎**、大橋春香(森林総研PD)、小出大(森林総研非常勤)、中園悦子(森林総研非常勤)、安田正次(森林総研非常勤)、小南裕志、大丸裕武、**田中信行**	2015.03	地球温暖化が東アジアの自然植生に及ぼす影響の評価	生研フォーラム論文集、23:71-72
津山幾太郎、堀田昌伸(長野県環境保全研究所)、中尾勝洋(森林総研PD)、尾関雅章(長野県環境保全研究所)	2015.03	温暖化に伴う高山植生の分布変化がライチョウの分布に及ぼす影響を推定する	口頭発表，日本生態学会第62回全国大会企画集会，鹿児島
酒井佳美、大村和香子、鵜川信(鹿児島大学)、石塚成宏、**相澤州平**	2014.10	材の初期分解過程への周辺環境の影響	第70回九州森林学会大会、704
相澤州平	2014.12	森林土壌の化学性	樹木医学の基礎講座(海青社)、105-113(11章)
阿部俊夫、**相澤州平**、**橋本徹**、**佐々木尚三**	2015.02	ハーベスタ・フォワーダシステムによる間伐跡地からの濁水発生－生田原国有林の事例－	北方森林研究、63:53-56
相澤州平、**伊藤江利子**、**橋本徹**、酒井佳美、鳥山淳平、大澤晃(京都大学)、藤井創一朗(京都大学)	2015.02	羊ヶ丘実験林における40年生トドマツ、エゾマツ、アカエゾマツ人工林の地上部バイオマス量と施肥の影響	北方森林研究、63:67-68
古澤仁美、長倉淳子、**相澤州平**、**伊藤江利子**	2015.03	連年施肥によるpH低下が肥培モデル実験林の土壌微生物バイオマスに及ぼす影響	日本森林学会大会学術講演集、126:260
酒井佳美、大村和香子、鵜川信(鹿児島大)、石塚成宏、**相澤州平**	2015.03	スギとヒノキの材の初期分解過程への分解者群集と周辺環境の影響	九州森林研究、68:161-163
相澤州平、**橋本徹**、**伊藤江利子**	2015.03	2-2.土壌、3-2.土壌	石狩川源流森林総合調査(第4次)報告書、29-32、69-82
上村章、**原山尚徳**、宇都木玄	2014.04	北海道におけるエネルギー作物「ヤナギ」の生産の可能	パンフレット
KAMAKURA Mai(鎌倉真依・京都大学)、KOSUGI Yoshiko(小杉緑子・京都大学)、TAKANASHI Satoru(高梨聡)、**UEMURA Akira(上村章)**、UTSUGI Hajime(宇都木玄)、Abd Rahman Kassim(Forest Research Insutitute Malaysia)	2014.05	Occurrence of stomatal patchiness and its spatial scale in leaves from various sizes of trees distributed in a South-east Asian tropical rainforest in Peninsular Malaysia(半島マレーシア東南アジア熱帯雨林における様々なサイズの樹木のパッチ状気孔開閉とその空間的スケール)	Tree Physiology、35:61-70
上村章、**伊藤江利子**、**原山尚徳**、**韓慶民**、宇都木玄	2014.07	農業的な林業にチャレンジ－バイオマス資源作物としてのヤナギの短伐期栽培－	森林総合研究所平成26年版研究成果選集、28-29
上村章、宇都木玄、**原山尚徳**、丸山温(日本大学)、高橋祐二(下川町)	2014.11	下川町栽培試験地におけるヤナギの収量とその年変動	第63回北方森林学会

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
KAMAKURA Mai(鎌倉真衣・京大PD)、KOSUGI Yoshiko(小杉緑子・京大教授)、TAKANASHI Satoru(高梨聡)、UEMURA Akira(上村章)、UTSUGI Hajime(宇都木玄)	2015.01	The occurrence of stomatal patchiness and its spatial scale in leaves from various sizes of trees distributed in a South-East Asian tropical rainforest in Peninsular Malaysia.(東南アジアマレー半島熱帯林に分布する様々なサイズ樹木個体の葉における、気孔パッチネスの存在)	Tree Physiology、35:61-70
上村章、原山尚徳、宇都木玄、丸山温(日本大学)、高橋祐二(下川町)	2015.02	下川町栽培試験地におけるヤナギの収量とその年変動	北方森林研究、63:19-20
宇都木玄、松井哲哉、高橋正義、上村章、原山尚徳、伊藤江利子、古家直行、石原誠、佐山勝彦、松浦友紀子、韓慶民	2015.02	木質資源作物としてのヤナギの利用可能性	北方森林研究、63:15-17
上村章、原山尚徳、宇都木玄	2015.03	バイオマス造林樹種ヤナギの高い二酸化炭素吸収能力のメカニズム	第126回日本森林学会大会、P2B039
松田修(九大)、原真司(住林)、飛田博順、矢崎健一、中川敏法(九大)、清水邦義(九大)、上村章、宇都木玄	2015.03	赤外狭帯域画像を利用した スギ・ヒノキにおける充実種子選別法の開発	第126回日本森林学会大会学術講演集、82
INAGAKI Yoshiyuki(稲垣善之)、MORISHITA Tomoaki(森下智陽)、SAKATA Tadashi(阪田匡司)、ISHIZUKA Shigehiro(石塚成宏)、INAGAKI Masahiro(稲垣昌宏)、HASHIMOTO Toru(橋本徹)、NOGUCHI Kyotaro(野口享太郎)、HIRAI Keizo(平井敬三)、KANEKO Shinji(金子真司)、TAKAHASHI Masamichi(高橋正通)、FUKATA Hidehisa(深田英久・高知県森技セ)	2014.09	Carbon allocation in coniferous plantations of Japanese cedar and hinoki cypress in japan.(日本のスギ・ヒノキ人工林における炭素分配)	Abstract book of 6th international symposium on physiological processes in roots of woody plants、77
石塚成宏、三浦覚、橋本昌司、平井敬三、阪田匡司、長倉淳子、野口享太郎、橋本徹、小野賢二、谷川東子、酒井寿夫、森下智陽、重永英年、酒井佳美	2015.01	新たな土壌炭素モデルの構築と必要パラメーターの取得	地球温暖化の中で森林を活かす(気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト研究成果発表会講演集)、40
橋本徹、相澤州平、伊藤江利子、佐々木尚三	2015.02	人の反復跳躍による森林土壌硬度の簡易評価	北方森林研究、63:63-65
橋本徹	2015.03	北海道の平坦林における土壌CO2フラックスの空間変動	日本生態学会大会講演要旨集、62:PA2-193
ITO Eriko(伊藤江利子)、TORIYAMA Jumpei(鳥山淳平)、ARAKI Makoto(荒木誠)、KIYONO Yoshiyuki(清野嘉之)、KANZAKI Mamoru(神崎護・京都大)、TITH Bora(カンボジア森林局)、KETH Samkol(カンボジア森林局)、LY Chandararity(カンボジア森林局)、CHANN Sophal(カンボジア森林局)	2014.04	Physicochemical surface soil properties after litter removal manipulation in a Cambodian lowland dry evergreen forest(カンボジア低地乾燥常緑林におけるリター剥ぎ取り実験後の表層土壌の理化学性)	Japan Agricultural Research Quarterly (JARQ)、48:195-211
飯田真一、伊藤江利子、清水晃、延廣竜彦、清水貴範、壁谷直記、玉井幸治、荒木誠、CHANN Sophal(カンボジア森林野生生物開発研究所)、KETH Nang(カンボジア森林野生生物開発研究所)	2014.04	カンボジア国低地常緑林における順次展葉型と一斉展葉型の樹木の蒸散量と樹冠コンダクタンス	水利科学、336:44-63
大貫靖浩、吉永秀一郎、釣田竜也、荒木誠、伊藤江利子、志知幸治、松浦陽次郎、小野賢二、岡本透	2014.06	桂試験地における土層厚の分布と土壌物理特性	森林総合研究所研究報告、13(2):43-59

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
三浦覚、志知幸治、伊藤江利子、金子真司	2014.09	森林土壌における福島原発事故前の放射性セシウム蓄積量	日本土壌肥料学会2014年度東京大会、P8-1-19
SUZUKI Maki(鈴木牧・東大)、ITO Eriko(伊藤江利子)	2014.10	Combined effects of gap creation and deer exclusion on restoration of belowground systems of secondary woodlands: a field experiment in warm-temperate monsoon Asia(伐採とシカ排除が薪炭二次林の地下生態系復元に及ぼす複合影響)	Forest Ecology and Management、329:227-236
Miura S.(三浦覚)、Shichi K.(志知幸治)、Ito E.(伊藤江利子)、Kaneko S.(金子真司)	2014.10	Radiocesium inventory of forested land in Japan just before Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident(福島第一原子力発電所事故直前の日本の森林域の放射性セシウムインベントリー)	International Union of Forest Research Organizations XXIV World Congress, The International Forestry Review、16:206
伊藤江利子、宇都木玄、上村章、原山尚徳、韓慶民	2014.11	短伐期栽培におけるエゾノキヌヤナギの根系発達と窒素分配について	北方森林学会大会講演要旨、63:Pa-26
TITH Bora(カンボジア森林局)、ITO Eriko(伊藤江利子)、FURUYA Naoyuki(古家直行)、KURAMOTO Shigeo(倉本惠生)、OHNUKI Yasuhiro(大貫靖浩)、TORIYAMA Jumpei(鳥山淳平)、MONDA Yukako(門田有佳子・森林総研PD)、ARAKI Makoto(荒木誠)、SHIBATA Mitsue(柴田銃江)、YAGI Takanobu(八木貴信)、SAKAI Yoshimi(酒井佳美)、KANZAKI Mamoru(神崎護・京都大)、KETH Samkol(カンボジア森林局)、CHANDARARITY Ly(カンボジア森林局)、PHALLAPHEARAOTH Op(カンボジア森林局)、POL Sopheavuth(カンボジア森林局)、LIM Sopheap(カンボジア森林局)、PITH Phearak(カンボジア森林局)、KHORN Saret(カンボジア森林局)、CHANN Sophal(カンボジア森林局)	2015.02	Net Primary Production (NPP) estimation in Cambodia: comparison between the Kampong Thom and Kratie meteorological observation tower plots (カンボジアにおける純生産量の推定:コンポントム州とクラティエ州の気象観測タワープロット間の比較)	Proceedings of 10th International Workshop on Forest Watershed Environment Research in Cambodia、21-24
ITO Eriko(伊藤江利子)、FURUYA Naoyuki(古家直行)、MONDA Yukako(門田有佳子・森林総研PD)、TORIYAMA Jumpei(鳥山淳平)、OHNUKI Yasuhiro(大貫靖浩)、KIYONO Yoshiyuki(清野嘉之)、ARAKI Makoto(荒木誠)、TITH Bora(カンボジア森林局)、KETH Samkol(カンボジア森林局)、LY Chandararity(カンボジア森林局)、PHALLAPHEARAOTH Op(カンボジア森林局)、CHANN Sophal(カンボジア森林局)、KANZAKI Mamoru(神崎護・京都大)	2015.02	Impact of selective logging on stand carbon storage in Dipterocarpus obtusifolius stand (カンボジアDipterocarpus obtusifolius林における択伐が炭素蓄積量に与える影響)	Proceedings of 10th International Workshop on Forest Watershed Environment Research in Cambodia、25-28

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
CHANN Sophal(カンボジア森林野生生物開発研究所)、SATHA Saing(カンボジア森林野生生物開発研究所)、PHALLAPHEARAOTH Op(カンボジア森林野生生物開発研究所)、IIDA Shin'ichi(飯田真一)、SHIMIZU Takanori(清水貴範)、ITO Eriko(伊藤江利子)、SHIMIZU Akira(清水晃)、KABEYA Naoki(壁谷直記)、TAMAI Koji(玉井幸治)、OHNUKI Yasuhiro(大貫靖浩)	2015.02	Prediction of increase in surface temperature due to declines of overstory trees in a deciduous forest, central Cambodia (カンボジア中央部の落葉林における上層木の衰退による表面温度上昇の予測)	Proceedings of 10th International Workshop on Forest Watershed Environment Research in Cambodia、16-19
伊藤江利子、宇都木玄、上村章、原山尚徳、韓慶民	2015.02	短伐期栽培におけるエゾノキヌヤナギの根系発達と窒素分配について	北方森林研究、63:47-50
伊藤江利子、古家直行、門田有佳子(森林総研PD)、鳥山淳平、清野嘉之、吉冨真幸(アジア航測)、佐野滝雄(アジア航測)、SOKH Heng(カンボジア森林局)、CHANN Sophal(カンボジア森林局)、SAMRETH Vanna(カンボジア森林局)、KHORN Saret(カンボジア森林局)	2015.02	ALOS/PRISMデータを利用した森林バイオマス炭素量の広域推定	REDD推進体制整備に関する研究成果発表会、C5
OHNUKI Yasuhiro(大貫靖浩)、KETH Samkol(FWRDI)、ITO Eriko(伊藤江利子)、TITH Bora(FWRDI)、CHANN Sophal(FWRDI)、KABEYA Naoki(壁谷直記)、TORIYAMA Jumpei(鳥山淳平)、ARAKI Makoto(荒木誠)	2015.02	Spatial variation of soil water content, soil hardness and ground temperature at deciduous and evergreen forests in Cambodia -Continued Report-(カンボジアの落葉林および常緑林における土壌水分、土壌硬度、地温の空間変動－続報－)	Proceedimgs of 10th International Workshop on Forest Watershed Environment Research in Cambodia、29-30
長倉淳子、古澤仁美、伊藤江利子、相澤州平	2015.03	37年間連続施肥を受けたトドマツの養分状態	日本森林学会大会学術講演集、126:259
原山尚徳、上村章、宇都木玄	2014.08	カラマツ大苗植栽と生分解性防草シート施工による無下刈り施業と育林コスト	北海道の林木育種、57(1):23-26
原山尚徳、上村章、韓慶民、宇都木玄	2015.02	生分解性防草シートを施工したカラマツ大苗無下刈試験地の3年目の状況	北方森林研究、63:21-22
原山尚徳、飛田博順、今博計(道総研林試)、石塚航(道総研林試)、来田和人(道総研林試)	2015.03	カラマツコンテナ苗植栽1年目の生理生態特性	日本森林学会大会学術講演集、126:254
原山尚徳、上村章、韓慶民、大野泰之(道総研林試)、宇都木玄	2015.03	グイマツ雑種F1とカラマツにおける光合成速度の日変化	日本生態学会大会講演要旨、62:PA2-072
MIYAZAKI Yuzo(宮崎雄三・北海道大学)、P. Fu(中国科学院)、ONO Kaori(小野かおり・北海道大学)、TACHIBANA Eri(立花英里・北海道大学)、YAMANOI Katsumi(山野井克己)、KAWAMURA Kimitaka(河村公隆・北海道大学)	2014.07	Seasonal Cycles of Water-Soluble Organic Nitrogen Aerosols in a Deciduous Broadleaf Forest in Northern Japan (北日本の落葉広葉樹林における水溶性有機体窒素の季節サイクル)	AOGU2014、AS55-A016
阿部俊夫、山野井克己、溝口康子、北村兼三	2014.12	定山渓森林理水試験地観測報告(2008年1月～2012年12月)	森林総合研究所研究報告、13(4):207-223
山野井克己、溝口康子、安田幸生、宇都木玄、深山貴文、高梨聡、小南裕志、北村兼三、中野隆志(山梨県富士山科学研究所)	2015.01	温暖化による森林生態系炭素吸収量の変動予測	農林水産省平成26年度委託研究気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト研究成果発表会講演集「地球温暖化の中で森林を生かす」、:49
山野井克己、溝口康子	2015.03	温暖化にともなう森林生態系炭素収支の将来予測	日本森林学会大会学術講演集、126:P2ア041
山野井克己	2015.03	森林と大気の間で吸収・放出されるCO2を直接測る	季刊森林総研、28:8-9
山野井克己	2015.03	山岳地域の雪崩による事故防止を目指して	北の森だより、14:2-3

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
溝口康子、**山野井克己**、宇都木玄、飛田博順	2014.04	台風攪乱による落葉広葉樹林の二酸化炭素吸収量の変化	日本地球惑星科学連合2014年大会予稿集、AHW29-06
北尾光俊、小松雅史、吉村謙一(京都大)、矢崎健一、飛田博順、**溝口康子**、深山貴文、小南裕志、安田幸生、**山野井克己**	2014.06	Effect of cumulative ozone uptake on photosynthetic CO2 uptake capacity in a temperate deciduous broadleaf forest in Japan (オゾン積算吸収量が日本の落葉広葉樹林のCO2吸収能に及ぼす影響)	9th Air Pollution & Global Change Symposium、USBメモリによる配付のため番号無し
小松雅史、吉村謙一(学振PD)、藤井佐織(横国大)、矢崎健一、**溝口康子**、深山貴文、小南裕志、安田幸生、**山野井克己**、北尾光俊	2014.07	森林における対流圏オゾン濃度の推定	関東森林研究、65(2):165-168
溝口康子	2014.10	台風攪乱－CO2収支からみた攪乱の影響と回復過程－	北の森だより、13:4
溝口康子、**山野井克己**	2014.11	長期気象観測データからみる札幌の都市化	北方森林学会大会講演要旨、63:Pa-32
溝口康子、**山野井克己**、北村兼三、中井裕一郎、鈴木覚	2014.12	札幌森林気象試験地の気象(1999～2008年)	森林総合研究所研究報告、13(4):193-206
溝口康子、**山野井克己**	2015.02	長期気象観測データからみる札幌の都市化	北方森林研究、63:57-58
溝口康子、**山野井克己**	2015.03	レガシーデータ掘り起こしの重要性と課題	日本森林学会大会学術講演集、126:P2A039
荒木誠、清水晃、鳥山淳平、壁谷直記、**延廣竜彦**、玉井幸治、大貫靖浩、**伊藤江利子**	2014.04	カンボジア中央部の低地乾燥常緑林の土壌水移動－鉛直方向の土壌水分状態ならびに地下水流道と深部浸透－	水利科学、58(1):21-43
篠宮佳樹、小林政広、玉井幸治、大貫靖浩、伊藤優子、清水貴範、飯田真一、**延廣竜彦**、澤野真治、坪山良夫、蛭田利秀(福島林研セ)	2014.04	森林流域における平水時の渓流水中の放射性セシウム濃度	日本地球惑星科学連合2015年大会予稿集、:A-HW28-08
玉井幸治、**延廣竜彦**、荒木誠、壁谷直記、清水貴範、飯田真一、清水晃	2014.06	カンボジア中央部の低地乾燥常緑林の蒸発散特性－高木層が消失した場合の蒸発散量と温度環境に及ぼす影響予測－	水利科学、58(2):131-151
清水貴範、清水晃、**延廣竜彦**、壁谷直記、飯田真一、澤野真治、玉井幸治	2014.06	カンボジアの森林樹幹上における水蒸気輸送量の観測について	水利科学、58(2):114-130
KABEYA Naoki(壁谷直記)、SHIMIZU Akira(清水晃)、ZHANG Jianjun(張建軍・北京林業大)、**NOBUHIRO Tatsuhiko(延廣竜彦)**	2014.06	Effect of hydrograph separation on suspended sediment concentration predictions in a forested headwater with thick soil and weathered gneiss layers.(厚い土層および風化片麻岩層を持つ源頭部森林流域における浮遊土砂予測に対するハイドログラフ成分分離の効果)	Water、6(6):1671-1684
延廣竜彦、坪山良夫、玉井幸治、久保田多余子	2014.07	間伐による水源かん養機能の増進は樹冠が閉鎖しても継続する	森林総合研究所平成26年版研究成果選集、42-43
篠宮佳樹、小林政広、玉井幸治、大貫靖浩、伊藤優子、清水貴範、飯田真一、**延廣竜彦**、澤野真治、坪山良夫、蛭田利秀(福島林研セ)	2014.09	渓流水に含まれる放射性セシウム	東北森林科学会講演要旨集、19:6
SHINOMIYA Yoshiki(篠宮佳樹)、TAMAI Koji(玉井幸治)、KOBAYASHI Masahiro(小林政広)、OHNUKI Yasuhiro(大貫靖浩)、SHIMIZU Takanori(清水貴範)、IIDA Shin'ichi(飯田真一)、**NOBUHIRO Tatsuhiko(延廣竜彦)**、SAWANO Shinji(澤野真治)、TSUBOYAMA Yoshio(坪山良夫)、HIRUTA Toshihide(蛭田利秀・福島林研セ)	2014.11	Radioactive cesium discharge in stream water from a small watershed in forested headwaters during a typhoon flood event(森林源流部小流域における台風時の渓流水を通じた放射性セシウムの流出)	Soil Science and Plant Nutrition、60(6):765-771
尾崎研一、上田明良、澤野真治	2014.07	北海道における地球温暖化によるヤツバキクイムシの世代数変化予測	森林防疫、63(4):3-11
岡部貴美子、服部力、佐野真、宮本麻子、**尾崎研一**、柴田銃江、佐藤重穂、中静透(東北大)	2014.07	森林の生物多様性を予測する	森林総合研究所平成26年版研究成果選集、50-51

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
尾崎研一	2014.10	森の木を伐りながら生き物を守る－国際生物多様性の日 記念シンポジウムの概要－	山林、1565:36-44
尾崎研一	2014.10	トドマツ人工林における保残伐施業の実証実験	北の森だより、13:7
尾崎研一	2014.12	昆虫の増殖・分散と天敵の反応	樹木医学の基礎講座(海青社)、225-236
尾崎研一、弘中豊(北海道大学農学部)	2015.01	随伴アリによって異なるトドマツオオアブラムシ個体数の季節変化	2014年度日本昆虫学会・応用動物昆虫学会北海道支部大会講演要旨集、3
尾崎研一、松本和馬、浦野忠久、北島博、上田明良、佐藤重穂、喜友名朝次(沖縄県森研セ)、久保慎也(鹿児島県森技セ)、新谷喜紀(南九州大)、武田藍(千葉県農林研セ)、齊藤正一(山形県森研セ)、岡田充弘(長野県林総セ)、蛭田利秀(福島県林研セ)、安田弘法(山形大)	2015.01	温暖化により被害拡大が危惧される森林害虫	農林水産省平成26年度委託プロジェクト研究 気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト研究成果発表会講演集「地球温暖化の中で森林を活かす」、56
雲野明(道総研林業試験場)、尾崎研一、弘中豊(北海道大学農学部)、中田圭亮(道総研林業試験場)、南野一博(道総研林業試験場)	2015.02	小面積造林地における小哺乳類の生息数とマイマイガ蛹への捕食	北方森林研究、63:77-79
尾崎研一	2015.03	林業の特性と生物の多様性	人間活動と生態系、127-148
尾崎研一、佐山勝彦、弘中豊(北海道大学農学部)	2015.03	人工林樹冠部の昆虫多様性－木材生産と生物多様性の両立に向けて－	第62回日本生態学会大会講演要旨集、PB2-011
尾崎研一	2015.03	保残伐実験の概要－持続可能な人工林管理を目指して－	第126回日本森林学会大会講演要旨集、T2-1
曽我昌史(北海道大学農学部)、尾崎研一、山浦悠一、河原孝行、福山研二(信州大学農学部)、佐山勝彦、加藤哲哉(京都大学フィールド科学教育研究センター)、下村通誉(北九州市北九州市立自然史・歴史博物館)、伊藤哲也(日本海洋生物研究所)、吉田尚生(九州大学大学院理学研究院)	2015.03	局所・景観スケールでの環境改変に対するチョウ類の応答－種・機能群・群集レベルでの解析－	第126回日本森林学会大会講演要旨集、P1B099
山中聡(北海道大学農学部)、弘中豊(北海道大学農学部)、尾崎研一	2015.03	ピットフォールトラップによるオサムシ類の効率的な調査手法の検討	第126回日本森林学会大会講演要旨集、P2B128
平川浩文、木下豪太(北大地環研)、浦口宏二(道立衛研)、阿部豪(兵庫県立大)、車田利夫(北海道環境生活部)	2014.09	石狩低地帯より西側の地域におけるクロテンの生息記録の現状	日本哺乳類学会2014年度大会プログラム・講演要旨集、85
平川浩文	2014.12	Google Earthを用いた野生生物観測データの地図化	森林総合研究所研究報告、13(4):155-171
升屋勇人、石原誠、市原優、山口岳広、神崎菜摘	2014.11	ニレ類立枯病菌の病原力評価	樹木医学会第19回大会要旨、p.16
石原誠、秋庭満輝、佐橋憲生、池田武文(京都府立大)	2015.03	サクラ類のこぶ病抵抗性に関与する光条件	第100回植物病理学会大会講演要旨
石原誠、瀧川雄一(静岡大学創造科学技術大学院)、楢崎康二(福岡県農林総合試験場資源活用研究センター)	2015.03	シラカシ枝枯細菌病菌とモモせん孔細菌病菌との関係	第126回日本森林学会大会講演要旨
佐山勝彦、尾崎研一、原秀穂(道総研林業試験場)、小野寺賢介(道総研林業試験場)	2014.05	2012年に北海道で発生した森林昆虫	北方林業、66(5):143-145
SAYAMA Katsuhiko(佐山勝彦)、KOJIMA Jun-ichi(小島純一・茨城大学)、SAITO-MOROOKA Fuki(諸岡(斎藤)歩希・茨城大学)、MAKINO Shun'ichi(牧野俊一)	2014.07	Rapid expansion of range and population in the social-parasitic hornet.(社会寄生性スズメバチにおける分布域と個体群の急速な増大)	Abstracts of International Congress of International Union for the Study of Social Insects、17:263

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
久留島宏明(首都大学東京)、清水晃(首都大学東京)、西本裕(神戸女学院大学)、**佐山勝彦**、松本和馬、加藤学(山田養蜂場)、渡邊謙太(沖縄工業高等専門学校)、Jeong-Kyu Kim(韓瑞大学)	2014.09	ナミヒゲクモバチ複合種群(クモバチ科)における隠蔽種の探索	日本昆虫学会大会講演要旨、74:38
佐山勝彦、高谷文仁(北海道大学植物園)	2015.01	北海道大学植物園のスズメバチにおけるスズメバチネジレバネの寄生状況	日本応用動物昆虫学会・日本昆虫学会共催北海道支部大会講演要旨(2014年度)、5
滝久智、**佐山勝彦**、安田美香(森林総研PD)、前藤薫(神戸大)、磯野昌弘、中村克典、井上大成、佐藤重穂、上田明良、小坂肇、山下聡(徳島大)、岡部貴美子、**牧野俊一**	2015.03	誘引トラップによるスズメバチ類多様性の全国調査	第59回日本応用動物昆虫学会大会、PG017
古賀彩音(酪農学園大学)、本間由香里(酪農学園大学)、伊吾田宏正(酪農学園大学)、吉田剛司(酪農学園大学)、赤坂猛(酪農学園大学)、金子正美(酪農学園大学)、**松浦友紀子**	2014.07	札幌市近郊に生息するエゾシカの季節移動と行動圏	森林野生動物研究会大会、12
松浦友紀子、高橋裕史、伊吾田宏正(酪農学園大学)、池田敬(東京農工大学)、東谷宗光(酪農学園大学)、梶光一(東京農工大学)、吉田剛司(酪農学園大学)	2014.09	密度低減のための捕獲シナリオー減らしてからが勝負!ー	日本哺乳類学会2014年度大会プログラム・講演要旨集、36
古賀彩音(酪農学園大学)、本間由香里(酪農学園大学)、伊吾田宏正(酪農学園大学)、吉田 剛司(酪農学園大学)、赤坂猛(酪農学園大学)、金子正美(酪農学園大学)、**松浦友紀子**	2014.09	札幌市近郊に生息するエゾシカの生息動向、季節移動及び土地利用	日本哺乳類学会2014年度大会プログラム・講演要旨集、150
高橋裕史、**松浦友紀子**、伊吾田宏正(酪農大)	2014.09	ニホンジカ低密度実現・維持に向けた課題:捕獲とモニタリングを中心に	日本哺乳類学会2014年度大会講演要旨集、:25
池田敬(農工大)、高橋裕史、伊吾田宏正(酪農大)、**松浦友紀子**、東谷宗光(酪農大)、丸智明(酪農大)、吉田剛司(酪農大)、梶光一(農工大)	2014.09	目標密度達成へのニホンジカモニタリング手法の開発	日本哺乳類学会2014年度大会講演要旨集、:36
梶光一(農工大)、高橋裕史、吉田剛司(酪農大)、伊吾田宏正(酪農大)、**松浦友紀子**、池田敬(農工大)、日野貴文(酪農大)、東谷宗光(酪農大)	2014.09	洞爺湖中島におけるエゾシカの体サイズと生活史特性の密度依存的な変化	日本哺乳類学会2014年度大会講演要旨集、:43
古賀彩音(酪農学園大学)、本間由香里(酪農学園大学)、伊吾田宏正(酪農学園大学)、吉田剛司(酪農学園大学)、赤坂猛(酪農学園大学)、金子正美(酪農学園大学)、**松浦友紀子**、立木靖之(EnVision環境保全事務所)	2014.10	都市近郊に生息するエゾシカの生息動向と土地利用	野生生物と社会学会犬山大会大会プログラム・講演要旨集、119-120
KAJI Koichi(梶光一・農工大)、TAKAHASHI Hiroshi(高橋裕史)、YOSHIDA Tsuyoshi(吉田剛司・酪農大)、IGOTA Hiromasa(伊吾田宏正・酪農大)、**MATSUURA Yukiko(松浦友紀子)**、IKEDA Takashi(池田敬・農工大)、HINO Takafumi(日野貴文・酪農大)、AZUMAYA Munemitsu(東谷宗光・酪農大)	2014.10	Density-dependent effects on body mass and reproduction in sika deer(ニホンジカの体重と繁殖に及ぼす密度依存効果)	The Wildlife Society' 21st Annual Conference、Session 56, Presentation 27

著者（森林総研以外の者は所属を括弧書き）	発表年月	発表表題	発表書誌情報（書誌名、巻号頁）
IKEDA Takashi(池田敬・農工大)、TAKAHASHI Hiroshi(高橋裕史)、IGOTA Hiromasa(伊吾田宏正・酪農大)、MATSUURA Yukiko(松浦友紀子)、YOSHIDA Tsuyoshi(吉田剛司・酪農大)、TAKESHITA Kazutaka(竹下和貴・農工大)、KAJI Koichi(梶光一・農工大)	2014.10	Evaluation of Random Encounter Moder from camera-trap survey for a sika deer population（ニホンジカ個体数推定のためのカメラトラップ調査に基づくランダムエンカウンターモデルの評価）	The Wildlife Society' 21st Annual Conference、Session 56, Presentation 57
東谷宗光(酪農学園大学)、伊吾田宏正(酪農学園大学)、松浦友紀子	2014.10	シカ捕獲の担い手育成の必須条件とは？－独英の資格から考える－	野生生物と社会学会犬山大会大会プログラム・講演要旨集、:111-112
松浦友紀子	2014.11	シカ捕獲専門家のための認証制度－北海道モデルの提案－	野生生物と社会学会犬山大会大会プログラム・講演要旨集、
YANAGAWA Yojiro(北海道大学)、MATSUURA Yukiko(松浦友紀子)、SUZUKI Masatsugu(岐阜大学)、SAGA Shin-ichi(旭山動物園)、OKUYAMA Hideto(旭山動物園)、FUKUI Daisuke(EnVision環境保全事務所)、BANDO Gen(旭山動物園)、NAGANO Masashi(北海道大学)、KATAGIRI Seiji(酪農学園大学)、TAKAHASHI Yoshiyuki(北海道大学)、TSUBOTA Toshio(北海道大学)	2015.02	Accessory corpora lutea formation in pregnant Hokkaido sika deer (Cervus nippon yesoensis) investigated by examination of ovarian dynamics and steroid hormone concentrations（卵巣動態とステロイドホルモン濃度変化から明らかにされた妊娠ジカの副黄体形成機序）	Journal of Reproduction and Development、61(1):61-66
池田敬(農工大)、高橋裕史、伊吾田宏正(酪農大)、松浦友紀子、東谷宗光(酪農大)、吉田剛司(酪農大)、竹下和貴(農工大)、梶光一(農工大)	2015.03	連続的な捕獲圧によるニホンジカの活動パターンの変化	第62回日本生態学会大会講演要旨集、講演番号PB1-089
池田敬(農工大)、高橋裕史、松浦友紀子、伊吾田宏正(酪農大)、吉田剛司(酪農大)、梶光一(農工大)	2015.03	森林地域におけるカメラトラップ法を用いたニホンジカの密度推定手法の確立	第126回森林学会大会講演要旨集、講演番号P1B107
近藤穂高(北大)、上田宏一郎(北大)、鈴木正嗣(岐阜大)、伊吾田宏正(酪農大)、高橋裕史、松浦友紀子、池田敬(農工大)、近藤誠司(北大)	2015.03	異なる餌資源下における野生エゾシカの第一胃推定表面積の季節変化	日本畜産学会第119回大会講演要旨集、講演番号Ⅲ29-02
八巻一成、茅野恒秀(信州大)、藤崎浩幸(弘前大)、林雅秀、比屋根哲(岩手大)、金澤悠介(岩手県立大)、齋藤朱未(明治大)、柴崎茂光(国立歴博)、高橋正也(東北活性化研究センター)、辻竜平(信州大)	2014.09	過疎地域の地域づくりを支える人的ネットワーク －岩手県葛巻町の事例－	日本森林学会誌、67(4):221-228
八巻一成	2014.10	書評「日本の自然環境政策」	森林科学、72:48-49
八巻一成	2014.11	Network governance of endangered species conservation: A case study of Rebun Lady's-Slipper(絶滅危惧種のネットワーク・ガバナンス:レブンアツモリソウの事例)	Journal for Nature Conservation、doi:10.1016/j.jnc.2014.10.004
八巻一成	2015.03	国有林の公益的機能と公共性の現代的意義	林業経済研究、61(1):27-38
八巻一成	2015.03	都市近郊林をめぐる利用・文化的サービスとゾーニング	第126回日本森林学会大会講演要旨集、89p
古家直行	2014.04	森林の物理量(1.樹冠位置、2.樹冠、3.立木本数密度(スギ・ヒノキ人工林))	森林リモートセンシング(第4版)-基礎から応用まで（日本林業調査会)、265-271(第16章)
FURUYA Naoyuki(古家直行)	2014.07	Individual Tree extraction using high resolution satellite images for detection of large tree logging (大径木伐採の検知のための高分解能衛星画像を用いた単木抽出)	Proceedings of Technical Workshop on Forest Carbon Monitoring in Cambodia、33-50

著者(森林総研以外の者は所属を括弧書き)	発表年月	発表表題	発表書誌情報(書誌名、巻号頁)
KIYONO Yoshiyuki(清野嘉之)、FURUYA Naoyuki(古家直行)、FUJITA Naoko(九大)、SATO Tamotsu(佐藤保)、MATSUMOTO Mitsuo(松本光朗)、Soukanh Bounthabandid(ラオス森林局)、Somchay Sanonthy(ラオス森林局)	2014.09	Can converting slash-and-burn agricultural fields into rubber tree (Hevea brasiliensis) plantations provide climate change mitigation?: A case study in northern Laos (焼畑農地のパラゴムノキ林転換には気候変化を緩和する機能があるか?:北部ラオスにおける事例研究)	Bulletin of FFPRI、13(3)(482):79-88
Takahashi Masayoshi(高橋正義)、Furuya Naoyuki(古家直行)	2014.11	How Does Spacing Shape Affect Tree Growth? - Preliminary Study of an Area Fixed, Shape Change Design Plot Experiment-(空間形状は樹木の成長にどのような影響を与えるか?－面積一定形状変化するプロット試験の予備的研究－)	FORMATH、13:60-77
古家直行、伊藤江利子、高橋正義、松井哲哉	2014.11	GIS基盤情報を用いた下川町内におけるヤナギ栽培適地の輸送コスト評価	北方森林学会講演要旨集、Pa-07
FURUYA Naoyuki(古家直行)、HIRATA Yasumasa(平田泰雅)、LENG Chivin(カンボジア森林局)、PAK Chealy(カンボジア森林局)、OONO Katsumasa(大野勝正・アジア航測)、SANO Takio(佐野滝雄・アジア航測)、TAKAO Gen(鷹尾元)	2014.11	Application of individual tree crown based logging detection method to QuickBird high resolution satellite imagery (単木樹冠ベース伐採検知法のQuickBird高分解能衛星画像への適用)	International Technical Workshop on Challenges to forest carbon monitoring for REDD+ implementation: two approaches with conventional and novel techniques、Part Ⅱ-2
OTA Tetsuji(太田徹志・九州大学)、Oumer S. Ahmed(Trent University)、Steven E. Franklin(Trent University)、Michael A. Wulder(Canadian Forest Service)、KAJISA Tsuyoshi(加治佐剛・九州大学)、MIZOUE Nobuya(溝上展也・九州大学)、YOSHIDA Shigejiro(吉田茂二郎・九州大学)、TAKAO Gen(鷹尾元)、HIRATA Yasumasa(平田泰雅)、FURUYA Naoyuki(古家直行)、SANO Takio(佐野滝雄・アジア航測)、Sokh Heng(Forestry Administration Cambodia)、Ma Vuthy(Forestry Administration Cambodia)	2014.11	Estimation of Airborne Lidar-Derived Tropical Forest Canopy Height Using Landsat Time Series in Cambodia (Landsat時系列画像を用いたカンボジアの航空機LiDARによる熱帯林林冠高の推定)	Remote Sensing、doi:10.3390/rs61110750
SHIMIZU Katsuto(志水克人・九州大学)、OTA Tetsuji(太田徹志・九州大学)、KAJISA Tsuyoshi(加治佐剛・九州大学)、MIZOUE Nobuya(溝上展也・九州大学)、YOSHIDA Shigejiro(吉田茂二郎・九州大学)、TAKAO Gen(鷹尾元)、HIRATA Yasumasa(平田泰雅)、FURUYA Naoyuki(古家直行)、SANO Takio(佐野滝雄・アジア航測)、Sokh Heng(Forestry Administration Cambodia)、Ma Vuthy(Forestry Administration Cambodia)	2014.11	Estimation of Aboveground Biomass Using Manual Stereo Viewing of Digital Aerial Photographs in Tropical Seasonal Forest (熱帯季節林におけるデジタル空中写真肉眼立体視による地上バイオマスの推定)	Land(一覧登録申請中)、doi:10.3390/land3041270

著者（森林総研以外の者は所属を括弧書き）	発表年月	発表表題	発表書誌情報（書誌名、巻号頁）
MA Vuthy(カンボジア森林局)、KAJISA Tsuyoshi(加治佐剛・鹿児島大学)、OTA Tetsuji(太田徹志・九州大学大学院)、MIZOUE Nobuya(溝上展也・九州大学大学院)、HIRATA Yasumasa(平田泰雅)、FURUYA Naoyuki(古家直行)、TAKAO Gen(鷹尾元)、SOKH Heng(カンボジア森林局)	2014.11	Ground-based measurement for forest carbon monitoring in Cambodia（カンボジアにおける森林炭素モニタリングのための地上ベースの計測）	International Technical Workshop on Challenges to forest carbon monitoring for REDD+ implementation: two approaches with conventional and novel techniques、Part Ⅱ-3
KAJISA Tsuyoshi(加治佐剛・鹿児島大学)、OTA Tetsuji(太田徹志・九州大学大学院)、MIZOUE Nobuya(溝上展也・九州大学大学院)、YOSHIDA Shigejiro(吉田茂二郎・九州大学大学院)、TAKAO Gen(鷹尾元)、HIRATA Yasumasa(平田泰雅)、FURUYA Naoyuki(古家直行)、SANO Takio(佐野滝雄・アジア航測)、HENG Sokh(カンボジア森林局)、VUTHY Ma(カンボジア森林局)、ITO Eriko(伊藤江利子)、TORIYAMA Junpei(鳥山淳平)、MONDA Yukako(門田有佳子・森林総研PD)、SAITO Hidekl(齋藤英樹)、KIYONO Yoshiyuki(清野嘉之)、SOPHALE Chan(カンボジア森林局)、NANG Keth(カンボジア森林局)	2014.11	Monitoring of forest degradation using airborne LiDAR（航空機ライダを用いた森林劣化のモニタリング）	International Technical Workshop on Challenges to forest carbon monitoring for REDD+ implementation: two approaches with conventional and novel techniques、Part Ⅱ-4
HIRATA Yasumasa(平田泰雅)、FURUYA Naoyuki(古家直行)、SAITO Hideki(齋藤英樹)、LENG Chivin(カンボジア森林局)、PAK Chealy(カンボジア森林局)、OTA Tetsuji(太田徹志・九州大学)、KAJISA Tsuyoshi(加治佐剛・鹿児島大学)、MIZOUE Nobuya(溝上展也・九州大学)、SANO Takio(佐野滝夫・アジア航測)	2014.11	Estimating forest carbon stock using a combination of remote sensing techniques for REDD+ implementation（REDD+実施のためのリモートセンシング技術のコンビネーションを用いた森林炭素蓄積の推定）	Forestsat 2014 abstracts、REDD-2
HIRATA Yasumasa(平田泰雅)、FURUYA Naoyuki(古家直行)、TAKAO Gen(鷹尾元)、PAK Chealy(カンボジア森林局)、LENG Chivin(カンボジア森林局)、SOKH Heng(カンボジア森林局)、MA Vuthy(カンボジア森林局)、OTA Tetsuji(太田徹志・九州大学)、KAJISA Tsuyoshi(加治佐剛・鹿児島大学)、MIZOUE Nobuya(溝上展也・九州大学)、SANO Takio(佐野滝夫・アジア航測)、ONO Katsumasa(大野勝正・アジア航測)	2014.11	Scheme and aims of the project on Advanced Carbon Monitoring in Asian Tropical Forest by High Precision Remote Sensing Technologies（高精度リモートセンシングによるアジア地域熱帯林計測技術の高度化に関するプロジェクトのスキームと目的）	International Technical Workshop on Challenges to forest carbon monitoring for REDD+ implementation: two approaches with conventional and novel techniques、Part Ⅱ-1

著者（森林総研以外の者は所属を括弧書き）	発表年月	発表表題	発表書誌情報（書誌名、巻号頁）
平田泰雅、古家直行、齋藤英樹、鷹尾元、溝上展也(九州大学)、太田徹志(九州大学)、加治佐剛(鹿児島大学)、LENG Chivin(Forestry Administration Cambodia)、PAK Chealy(Forestry Administration Cambodia)	2015.01	宇宙から熱帯林の変化を監視する	農林水産省平成26年度委託研究気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト研究成果発表会講演集「地球温暖化の中で森林を生かす」、58
太田徹志(九州大学)、加治佐剛(鹿児島大学)、溝上展也(九州大学)、吉田茂二郎(九州大学)、鷹尾元、平田泰雅、古家直行、佐野滝雄(アジア航測)、Sokh Heng(Forestry Administration Cambodia)、Ma Vuthy(Forestry Administration Cambodia)、伊藤江利子、鳥山淳平、門田有佳子(森林総研PD)、齋藤英樹、清野嘉之、Chann Sophale(Forestry Administration Cambodia)、Ket Nang(Forestry Administration Cambodia)	2015.01	飛行機から熱帯季節林の地上バイオマス量を測る!!	農林水産省平成26年度委託研究気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト研究成果発表会講演集「地球温暖化の中で森林を生かす」、59
古家直行、西園朋広、小谷英司、北原文章、細田和男	2015.03	時系列空中写真三次元計測による人工林成長モニタリング	日本森林学会大会講演要旨集、126:232(P2A006)
古家直行	2015.03	GIS環境情報を用いたヤナギ栽培適地の抽出	森林計画学会春季シンポジウム「森林計画・管理における空間情報技術活用の最前線－北海道からの報告」、2(講演4)
古家直行	2015.03	空から森林変動を捉える技術－身の丈に合った観測技術を選択する時代に－	北の森だより、14:4-5
小谷英司、鷹尾元、細田和夫、家原敏郎、古家直行、西園朋広、北原文章、金森匡彦(日林協)、山田祐亮(日林協)	2015.03	航空機LiDARによるスギ林の材積推定手法の開発－林分推定法の精度比較－	第126回日本森林学大会学術講演集、T25-8

Ⅴ. 資料

1. 会議

会 議 名	開 催 日	主 催	開 催 場 所
研究所会議	年3回 (5・11・3月)	本所 総合調整室	森林総合研究所
北海道支所運営連絡会議	週1回	北海道支所	北海道支所
北海道支所運営会議	月2回	北海道支所	北海道支所
庶務課長等会議	26.11.25～11.26	本所総務部	森林総合研究所
北海道支所業務報告会	26.12.2	北海道支所	北海道支所
北海道支所研究評議会	27.2.10	北海道支所	札幌市男女共同参画センター
研究評議会	26.11.6	本所企画部	森林総合研究所
研究推進評価会議	27.3.5	本所企画部	森林総合研究所

(林業研究開発推進ブロック会議)

林業研究開発推進ブロック会議(北海道ブロック)	26.9.25	林野庁 北海道支所	かでる2・7(札幌市)

(林業試験研究機関連絡協議会)

北海道林業林産試験研究機関連絡協議会情報連絡部会	26.6.10	北海道支所	北海道支所
北海道林業林産試験研究機関連絡協議会研究専門部会	26.7.25 26.8.19	北海道支所	北海道支所
北海道林業林産試験研究機関連絡協議会総会	26.8.28	北海道支所	道総研林業試験場

(推進会議及びプロジェクト関連会議)

交付金プロジェクト「緩中傾斜地」研究推進評価会議	27.2.20	北海道支所	北海道支所
農林水産技術会議実用技術開発事業「伐採造林システム」推進会議	27.2.20	北海道支所	北海道支所

(林業試験研究機関連絡協議会)

北海道国有林森林・林業技術協議会　現地検討会	26.11.20	北海道森林管理局	北海道支所

2. 諸行事

年 月 日	行　　事
26.4.26	国際生物多様性記念シンポジウム 「森の木を伐りながら生き物を守る～木材生産と生物多様性保全の両立に向けて～」開催(北海道支所)
26.5.12	北海道大学大学院農学院施設見学(北海道支所)
26.6.28	一般公開　開催(北海道支所・北海道育種場・森林農地整備センター札幌水源林整備事務所)
26.7.1	石狩川源流森林総合調査(第4 次)現地検討会開催(北海道支所)
26.7.31～8.1	わくわく夏休み子ども見学デー～体験しよう！食と農林水産の世界～(主催:北海道農政事務所)
26.8.6	2014サイエンスパーク(主催:北海道)へ出展
26.9.26	伐採・造林一貫システム講演会及び現地検討会開催(北海道支所)
26.10.17	北海道地域研究成果発表会　開催(北海道支所・北海道育種場・札幌水源林整備事務所)
26.10.29	札幌市立清田小学校へ出前授業(北海道支所)
27.2.25	札幌大学・森林総合研究所　合同公開講座　開催(北海道支所・札幌大学)

3. その他の諸会議

会 議 名	開催日	主 催	出 席 者
平成26年度北海道地区官庁施設保全連絡会議	26. 6. 17	北海道開発局	渡邊 謙一
第41回北海道地区研修担当官会議	27. 3. 5	人事院北海道事務局	横濱大輔

４．職員の研修・講習

研　修　・　講　習　名	期　間	主　催	受　講　者
平成２６年度森林総合研究所新規採用者研修	26.4.9～4.11	森林総合研究所	津山幾太郎
平成２６年度総合職新採研修	26.4.14～4.18	森林総合研究所	津山幾太郎
平成２６年度情報公開・個人情報保護制度の運用に関する研修会	26.6.20	北海道管区行政評価局	坂上　勉
平成２６年度勤務時間・休暇制度等研修会及び両立支援制度等研修会	26.6.26	人事院北海道事務局	近藤　洋美
平成２６年度勤務時間・休暇制度等研修会及び両立支援制度等研修会	26.6.27	キャタピラー教習所北海道研修センター	横濱　大輔
第２９回えせ同和行為対策関係機関連絡会	26.6.30	札幌法務局	渡邊 謙一
平成２６年度官公需確保対策地方推進協議会	26.7.17	北海道経済産業局	土谷 直輝
業態別研修会（第５、６、７区分）	26.7.24	札幌豊平区防火管理者協議会	坂上　勉
平成２６年度英語研修	26.7.25～12.16	WORDWISE外国語教室	土谷 直輝
平成２６年度英語研修	26.7.25～12.12	WORDWISE外国語教室	神田 光紀
平成２６年度英語研修	26.8.1～12.18	WORDWISE外国語教室	津山幾太郎
平成２６年度英語研修	26.8.9～12.27	WORDWISE外国語教室	古家 直行
平成２６年研究プロジェクト企画研修	26.9.8～10	森林総合研究所	八巻一成
平成２６年度札幌法務局管内訟務担当者協議会例会	26.10.17	札幌法務局管内訟務担当者協議会	横濱　大輔
平成２６年度行政管理、評価・監査北海道セミナー	26.11.17	北海道管区行政評価局	横濱　大輔
実務研修会（普通救命講習）	26.11.17	札幌豊平区防火管理者協議会	佐々木尚三
実務研修会（普通救命講習）	26.11.17	札幌豊平区防火管理者協議会	相澤 州平
実務研修会（普通救命講習）	26.11.17	札幌豊平区防火管理者協議会	倉本 惠生
実務研修会（普通救命講習）	26.11.17	札幌豊平区防火管理者協議会	橋本　徹
実務研修会（普通救命講習）	26.11.17	札幌豊平区防火管理者協議会	山本 健一
実務研修会（普通救命講習）	26.11.17	札幌豊平区防火管理者協議会	長澤 俊光
平成２６年度政策評価に関する統一研修	26.12.11	北海道管区行政評価局	坂上　勉
平成２６年度政策評価に関する統一研修	26.12.11	北海道管区行政評価局	横濱　大輔
給与制度の総合的見直しに伴う人事院規則等の一部改正等説明会	27.2.9	人事院北海道事務局	横濱　大輔
第４１回北海道区研修担当官会議	27.3.5	人事院北海道事務局	横濱　大輔

５．受託出張（８５件）

用　務	日　程	依　頼　者	用　務　先	氏 名
「保護地域制度が周辺地域の生業変化や資源化に及ぼす影響－持続可能な地域発展における規制のあり方－」研究会　出席	H26.5.10～11	大学共同利用機関法人人間文化研究機構　国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館他（千葉県佐倉市城内町１１７）	八巻　一成
GORE-TEXTM Cafe　講演会　講師	H26.6.10	日本ゴア株式会社ファブリクスディビジョン	ハーベステラス品川店（東京都港区高輪4-8-4　モンベル高輪ビル）	北村　系子
「保護地域の規制やブランディングが地域社会に及ぼす影響」の調査	H26.6.13～15	大学共同利用機関法人人間文化研究機構　国立歴史民俗博物館	北海道教育大学・ニセコ積丹小樽海岸国定公園・十勝三股他	八巻　一成
北海道地区における原木の「広域流通構想」作成のための調査及び取りまとめ方針の打ち合わせ	H26.6.27	一般財団法人日本木材総合情報センター	北海道庁・北海道木材産業協同組合連合会・北海道大学	嶋瀬　拓也
「エゾシカイベント in 円山動物園」におけるシンポジウムの講師派遣	H26.6.28	札幌市円山動物園	札幌市円山動物園（札幌市中央区宮ヶ丘３番地１）	松浦　友紀子
「メークマ海岸防災林全体計画調査業務」に係る技術指導・助言	H26.7.7～9	株式会社北海道森林土木コンサルタント	メークマ海岸（稚内市）及び宗谷森林管理署	関　剛
平成２６年度花粉関係調査委員会（第１回）出席	H26.7.8	一般社団法人　全国林業改良普及協会	三会堂ビル２階Ａ会議室	倉本　惠生
平成２６年度知床世界自然遺産地域科学委員会 第１回エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループ　出席	H26.7.12	知床世界自然遺産地域科学委員会エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループ	釧路地方合同庁舎５階　共用第１会議室（釧路市幸町１０－３）	牧野　俊一
北海道森林審議会	H26.7.22	北海道水産林務部	第２水産ビル８階８ＢＣ会議室	牧野　俊一
第２回広域原木流通分析調査検討委員会　出席	H26.7.25	一般財団法人日本木材総合情報センター	日本森林林業振興会　小会議室（東京都文京区後楽1-7-12　林友ビル６階）	嶋瀬　拓也
山の幸関連のイギリス研修の日程等及び平成２６年度実施エゾシカ囲いわな設置方法等の協議	H26.7.28～29	西興部村	西興部村役場（北海道紋別郡西興部村字西興部１００番地）	松浦　友紀子
第２回保護林制度等に関する有識者会議での事例発表	H26.8.5	林野庁	農林水産省三番町共用会議所（東京都千代田区九段南２丁目１番５号）	田中　信行
洞爺湖中島エゾシカ対策協議会　出席	H26.8.18	洞爺湖中島エゾシカ対策協議会	洞爺湖町役場３階防災研修ホール	松浦　友紀子
林業の成長産業化に向けて「女性」の力を活かすための検討会　出席	H26.8.21～22	林野庁	農林水産省７階共用第７・８会議室他	松浦　友紀子

用　務	日　程	依　頼　者	用　務　先	氏 名
技術開発課題現地検討会	H26.8.26～27	北海道森林管理局長	美瑛町及び士別市	佐々木　尚三
第１回「沖縄らしいみどりを守ろう事業」研究専門部門担当者会議及び保全対策検討委員会　出席	H26.9.8	株式会社沖縄環境分析センター・日本工営株式会社共同企業体	沖縄県市町村自治会館　中会議室（沖縄県那覇市旭町116-37）	牧野　俊一
第１回占冠村猟区管理運営委員会　出席	H25.9.8	占冠村長	占冠村総合センター（占冠村役場庁舎内）３階　議員控え室	松浦友紀子
石狩川源流森林総合調査（第４次）における現地調査及び現地指導	H26.9.8～9	株式会社　森林環境リアライズ	上川郡上川町層雲峡（国有林野：上川中部森林管理署所管）	石橋　　聡
２０１５年度森林立地学会現地研究会の候補地選定	H26.9.11～12	森林立地学会	寿都郡黒松内町	相澤　州平
第２回共同研究「保護地域制度が周辺地域の生業変化や資源化に及ぼす影響－持続可能な地域発展における規制のあり方－」調査・研究会　出席	H26.9.13～14	大学共同利用機関法人人間文化研究機構　国立歴史民俗博物館	屋久島島内国有林内・仙の家	八巻　一成
「礼文島環境フォーラム２０１４」における講演　講師	H26.9.20	NPO法人　礼文島自然情報センター	北海道礼文島（礼文町町民活動総合センターぴすか２１）	八巻　一成
「平成25年度ナラ枯れ被害防止技術開発事業」第1回検討委員会	H26.9.22	一般社団法人日本森林技術協会	日林協会館４階会議室（東京都千代田区六番町７番地）	牧野　俊一
「平成２６年度包括連携事業」現地検討会　出席	H26.9.23～24	国立大学法人北海道大学大学院農学研究院長	下川町公民館他（下川町）	牧野　俊一 田中　信行
「平成２６年度小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理委員会」に係る第１回アドバイザー会議　出席	H26.9.28～29	一般社団法人日本森林技術協会	小笠原村東京連絡事務所会議室（東京都港区海岸１－１２－２　竹芝客船ターミナル２階	田中　信行
シカ捕獲および解体用教材の作成	H25.9.28～30	特定非営利活動法人　西興部村猟区管理協会	西興部村猟区	松浦友紀子
「メークマ海岸防災林全体計画調査業務」に係る技術指導・助言	H26.9.29～10.1	株式会社北海道森林土木コンサルタント	メークマ海岸（稚内市）及び宗谷森林管理署	関　　剛
安全衛生推進者等に対する集団指導会講師	H26.9.30	林業・木材製造業労働災害防止協会北海道支部	紋別市	佐々木　尚三
平成２６年度知床世界自然遺産地域科学委員会 第２回エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループ　出席	H26.10.1	知床世界自然遺産地域科学委員会 エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループ	釧路地方合同庁舎５階　共用第１会議室（釧路市幸町１０－３）	牧野　俊一

用　務	日　程	依　頼　者	用　務　先	氏 名
平成２６年度（集団研修）「地域住民の参加による多様な森林保全」コースに係る講師	H26.10.1	一般社団法人海外林業コンサルタンツ協会	森林総合研究所北海道支所（札幌市豊平区羊ヶ丘７）	田中　信行
平成２６年度（集団研修）「地域住民の参加による多様な森林保全」コースに係る講師	H26.10.2	一般社団法人海外林業コンサルタンツ協会	JICA北海道（札幌市白石区本通１６丁目４－２５）	飯田　滋生
平成２６年度（集団研修）「地域住民の参加による多様な森林保全」コースに係る講師	H26.10.2	一般社団法人海外林業コンサルタンツ協会	JICA北海道（札幌市白石区本通１６丁目４－２５）	平川　浩文
石狩川源流森林総合調査（第４次）における現地調査及び現地指導	H26.10.7～8	株式会社　森林環境リアライズ	上川郡上川町層雲峡（国有林野：上川中部森林管理署所管）	石橋　　聡
北海道森林審議会委員現地検討会　出席	H26.10.7	北海道森林審議会	岩見沢市・栗山町・長沼町・札幌市	牧野　俊一
第２回北海道地区広域原木流通協議会出席	H26.10.9	北海道地区広域原木流通協議会	札幌全日空ホテル２３階　白樺の間	嶋瀬　拓也
安全衛生推進者等に対する集団指導会講師	H26.10.10	林業・木材製造業労働災害防止協会北海道支部	倶知安町	佐々木　尚三
「平成２６年度森林総合監理士育成研修事業」実践研修　講師	H26.10.21～22 H26.11.4～5	一般社団法人林業人材育成支援普及センター（林野庁委託事業者）	第１回　旭川市民文化会館他 第２回　ネイパル足寄他	佐々木　尚三
「野幌自然環境モニタリング検討会」出席	H26.10.22	北海道森林管理局長	大麻公民館　えぽあホール	平川　浩文
平成２６年度　森林総合監理士フォローアップⅣ（作業システム）研修講師	H26.10.28	林野庁森林技術総合研修所長	林野庁森林技術総合研修所	佐々木尚三
北海道に即した中核的林業技術者養成プログラムの開発事業第１会ワーキング会議	H26.10.28	国立大学法人北海道大学農学研究院長	北海道大学農学部	嶋瀬　拓也
天然記念物標津湿原におけるササに関する技術的指導	H26.10.28～30	標津町教育委員会教育長　青山信一	天然記念物標津湿原（標津郡標津町字伊茶仁）	北村　系子
総合的な学習の時間における出張授業の講師	H26.10.29	札幌市立清田小学校長　髙村　誠	札幌市立清田小学校	相澤　州平
森林計画樹立に係る現地意見交換会出席	H26.10.30	北海道森林管理局長	日高北部森林管理署管内８３，９３，９５林班（日高町）	佐々木尚三
「メークマ海岸防災林全体計画調査、最終とりまとめ案に係る助言、指導	H26.11.5～6	株式会社　北海道森林土木コンサルタント　代表取締役　東條　將之	メークマ海岸（稚内市）及び宗谷森林管理署	関　　剛
サクラ保全管理講座　講師	H25.11.6	公益財団法人日本花の会	石垣記念ホール（東京都港区赤坂１－９－１３　三会堂ビル９階）	石原　　誠

用　務	日　程	依　頼　者	用　務　先	氏 名
若手農林水産研究者表彰式　出席	H26.11.12	農林水産省	東京ビックサイト	松浦友紀子
学生実習における銃器を使用した専門的な野生鳥獣捕獲実習、衛生管理手法に基づくエゾシカ解体実習、ラッティングコール実習、ビームライフル実習の講師	H26.11.14～16	学校法人酪農学園酪農学園大学農食環境学群　環境共生学類長　山舗　直子	紋別郡西興部村内	松浦　友紀子
アドバイザリーボード会合　出席	H26.11.25	国立大学法人北海道大学大学院農学研究院長　丸谷知己	北海道大学大学院農学研究院　Ｎ３１講義室	尾崎　研一
北海道に即した中核的林業技術者養成プログラムの開発事業打合せ	H26.12.1	国立大学法人北海道大学農学研究院長	北海道大学農学部	嶋瀬　拓也
森林資源としてのエゾシカ ―現状そして今後―　セミナー講師	H26.12.3	NPO法人北海道森林ボランティア協会理事長　横山清	札幌市ボランティア研修センター	松浦友紀子
道道奥尻島線の改築工事に係るブナ林の影響を最小限にとどめる方法及び手法に関する専門員の派遣要請	H26.12.3	北海道建設部長	北海学園大学　自然科学実験室	北村　系子
非材線虫病性のリュウキュウマツ枯死現象の視察	H26.12.9～11	沖縄県知事	西表島、石垣島	牧野　俊一
平成２６年度第１回北海道森林管理局技術開発委員会　出席	H26.12.10	北海道森林管理局長	北海道森林管理局	佐々木尚三
「北海道地区広域原木流通協議会」主催「原木安定供給研修」講師	H26.12.15～16	北海道地区広域原木流通協議会	苫小牧市民会館	嶋瀬　拓也
「平成25年度ナラ枯れ被害防止技術開発事業」第2回検討委員会	H26.12.22	一般社団法人日本森林技術協会	日林協会館４階会議室（東京都千代田区六番町７番地）	牧野　俊一
北海道森林審議会	H26.12.25	北海道森林審議会長	第２水産ビル８階８ＢＣ会議室（札幌市中央区）	牧野　俊一
日本製紙連合会林材部会「企画運営委員会」講師	H26.12.25	日本製紙連合会常務理事　　上河潔	紙パルプ会館　３階５号会議室（東京都中央区銀座３丁目9-11）	嶋瀬　拓也
第３回共同研究「保護地域制度が周辺地域の生業変化や資源化に及ぼす影響」研究会及び資料調査	H27.1.9～11	大学共同利用機関法人人間文化研究機構　国立歴史民俗博物館	林野庁図書館国立歴史民俗博物館	八巻　一成
フォーラム「しれとこ的狩猟女子ライフのススメ」 講師	H27.1.14～15	斜里町長	斜里町公民館ゆめホール知床（斜里町本町４番地）	松浦友紀子
平成２６年度「森林・林業人材育成加速化事業」フォレストマネージャー研修　講師	H27.1.28	一般社団法人　北海道造林協会北海道森林整備担い手支援センター長　旭　孝喜	NTT北海道セミナーセンタ	佐々木尚三
平成２６年度フロンティアサイエンスⅡ課題研究発表会の助言者	H27.1.29	北海道滝川高等学校長	北海道滝川高等学校	平川　浩文

用　務	日　程	依　頼　者	用　務　先	氏 名
新人ハンターセミナー（応用編）講師他	H27.1.30～2.3	特定非営利活動法人　西興部村猟区管理協会	西興部村猟区	松浦友紀子
平成２６年度保護林管理強化対策事業検討委員会　出席	H27.2.4	北海道森林管理局長	北海道森林管理局	牧野　俊一 飯田　滋生
森林施業における低コスト化研修会講師	H27.2.4～5	釧路市長	釧路工業技術センター	佐々木尚三
第３回北海道地区広域原木流通協議会出席	H27.2.5	北海道地区広域原木流通協議会	札幌全日空ホテル	嶋瀬　拓也
第３回トドマツ人工林更新技術検討会出席	H27.2.5	北海道森林管理局長	北海道森林管理局	石橋　聡
タイとの共同研究プロジェクト「持続的林業１」の衛星データを活用した課題に関する打合せ会議　出席	H27.2.5～6	独）国際農林水産業研究センター	独）国際農林水産業研究センター	古家　直行
平成２６年度　小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理委員会　出席	H27.2.9	関東森林管理局長	小笠原東京連絡事務所	田中　信行
平成26年度集団研修「保護地域の協働管理を通じた持続的な自然資源管理コース」）　講師	H27.2.10	一般財団法人　自然環境研究センター理事長	JICA北海道国際センター	八巻　一成
「狩猟者資格認定制度にむけたシンポジウム」　における発表及び現地指導	H27.2.11～13	オホーツク山の幸活用推進協議会 会長　西興部村長 高畑　秀美	西興部村公民館（紋別郡西興部村字西興部）	松浦友紀子
平成２６年度花粉関係調査委員会（第２回）　出席	H27.2.13	一般社団法人　全国林業改良普及協会長	三会堂ビル９階第２会議室（東京都港区赤坂１－９－１３）	倉本　惠生
学生実習における銃器を使用した専門的な野生鳥獣捕獲実習、衛生管理手法に基づくエゾシカ解体実習、ビームライフル実習の講師	H27.2.16～18	学校法人酪農学園 酪農学園大学 農食環境学群　環境共生学類長　山舗　直子	紋別郡西興部村内	松浦友紀子
北進線改修事業に係る専門家会議　出席	H27.2.19	日本工営株式会社	小笠原東京連絡事務所	田中　信行
道路改修事業（小曲地区）に係る専門家会議　出席	H27.2.19	いであ株式会社	小笠原東京連絡事務所	田中　信行
森林総合監理士・森林施業プランナースキルアップ講座　出席	H27.2.22～23	国立大学法人 北海道大学農学研究院長	かでる２．７	嶋瀬　拓也
第二回「沖縄らしいみどりを守ろう事業」保全対策検討委員会	H27.2.23～24	沖縄県知事	沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市旭町１１６－３７）	牧野　俊一
平成２６年度「世界自然遺産地域の森林生態系における気候変動の影響への適応策検討等事業」第２回検討委員会出席	H27.2.25	一般社団法人日本森林技術協会	日本森林技術協会	田中　信行
第１０回　白神山地世界遺産地域科学委員会　出席	H27.3.5	東北地方環境事務所長	弘前市立観光館	田中　信行
道道奥尻島線の改築工事に係るブナ林の影響を最小限にとどめる方法及び手法に関する専門員の派遣要請	H27.3.10	北海道建設部長	北海学園大学　自然科学実験室	北村　系子

用　務	日　程	依　頼　者	用　務　先	氏 名
北海道森林審議会　出席	H27.3.11	北海道森林審議会林地保全部会	北海道庁７階　共用会議室Ａ	牧野　俊一
平成26年度第２回北海道森林管理局技術開発委員会　出席	H27.3.12	北海道森林管理局長	北海道森林管理局	佐々木尚三
平成２６年度実施移動式囲いわなを用いたエゾシカの捕獲および食肉利用に関する技術指導	H27.3.12～13	西興部村長	西興部村	松浦友紀子
レブンアツモリソウ保護増殖ロードマップ検討ワーキンググループ（第２回）　出席	H27.3.17	北海道地方環境事務所長	札幌第１合同庁舎	八巻　一成
地域管理経営計画等に関する懇談会出席	H27.3.18	北海道森林管理局長	北海道森林管理局	牧野　俊一
２０１５年度森林立地学会現地研究会講師	H27.3.29～30	森林立地学会長	寿都郡黒松内町	北村　系子
林野庁補助事業「木材利用ポイント事業」地域材利用状況に関する調査事業（〈Ⅱ〉木材利用ポイント事業に関する効果検証調査業務）の有識者会議出席	H27.3.31	株式会社　綜研情報工芸	砂防会館	嶋瀬　拓也

6. 外国出張(12件)

用 務	日 程			経費負担先	行 先	氏 名
東アジア生物多様性保全ネットワーク会議出席	H26.4.16	～	4.19	韓国国立樹木園	韓国	田中　信行
「高精度リモートセンシングによるアジア地域熱帯林計測技術の高度化」における現地調査および技術ワークショップ参加	H26.6.27	～	7.21	農林水産省受託事業費	カンボジア	古家　直行
「他種スズメバチに社会寄生するチャイロスズメバチの分布域と生息密度の増大の要因解明」の研究成果を国際社会性昆虫学会議において研究発表	H26.7.12	～	7.20	運営費交付金	オーストラリア	佐山　勝彦
「アジア地域熱帯林における森林変動の定量評価とシミュレーションモデルの開発」研究成果のためのワークショップ出席および委託調査結果に関する打合せ	H26.9.22	～	9.27	農林水産省受託事業費	カンボジア	伊藤江利子
東アジア生物多様性保全ネットワーク2014年シンポジウム出席	H26.10.9	～	10.15	韓国国立樹木園	韓国	田中　信行
「開花遺伝子発現量と土壌・植物養分条件の統合分析による一斉開花機構の解明」の研究成果を第4回台湾・日本生態学ワークショップにおいて研究発表	H26.11.14	～	11.18	科学研究費補助金	台湾	韓　慶民
「開花遺伝子発現量と土壌・植物養分条件の統合分析による一斉開花機構の解明」の研究成果を英仏国際生態学会2014において研究発表	H26.12.8	～	12.14	科学研究費補助金	フランス	韓　慶民
「高精度リモートセンシングによるアジア地域熱帯林計測技術の高度化」における現地調査およびワークショップ参加	H26.11.17	～	11.28	農林水産省受託事業費	カンボジア・タイ	古家　直行
オホーツク山の幸活用推進協議会の要請による英国のシカ捕獲認証制度に関する現地調査	H26.12.12	～	12.24	オホーツク山の幸活用推進協議会	イギリス	松浦友紀子
「REDD推進体制整備に関する研究」における現地調査およびC／Pとの打合わせ	H27.1.25	～	2.7	国際林業協力事業	カンボジア	伊藤江利子
「気候温暖化がシダ植物の種多様性に与える影響の予測と検出」における現地調査と韓国国立樹木園との情報交換と打合せ	H27.1.25	～	1.28	科学研究費補助金	韓国	田中　信行
衛星データによるチーク人工林広域資源量推定モデル検証に係る現地調査と技術移転	H25.6.20	～	7.2	(独)国際農林水産業研究センター	タイ	古家　直行

7. 研修生の受入

① 受託研修生(1名)

氏 名	所 属	研 修 期 間	研 修 内 容	受 入 担 当
柿本　健吾	北海道教育大学札幌校 基礎学習開発専攻・理科グループ	26.5.7～27.2.20	ブナの葉緑体DNA分析手法及び集団遺伝学的解析手法	チーム長(北方林遺伝資源保全担当)北村　系子
菊池　葉香	北海道教育大学札幌校 基礎学習開発専攻・理科グループ	26.8.11～27.2.20	ブナの葉緑体DNA分析手法及び集団遺伝学的解析手法	チーム長(北方林遺伝資源保全担当)北村　系子

② 海外研修生(14名)

研修名:JICA集団研修「地域住民の参加による多様な森林保全」コース	
日　程:26.10.1～10.2	
(国　名)	(人　数)
ブルキナファソ	2
カンボジア	1
エチオピア	1
インド	1
ケニア	1
ラオス	1
マラウイ	1
ミャンマー	1
ネパール	1
パプアニューギニア	1
タンザニア	1
タイ	1
東ティモール	1

８．来訪者

①支所視察・見学・利用

来訪日	来訪者	人数	目的	担当者
26.5.8 ～27.3.31	北海道大学大学院環境科学院	2	ブナの開花メカニズムの解明に向けた組織サンプリング	チーム長(北方林遺伝資源保全担当)
26.5.12	北海道大学大学院農学院	14	施設見学	産学官連携推進調整監他
26.6.10	札幌科学技術専門学校	10	環境調査実習	連絡調整室
26.6.18	自然ウオッチングセンター	20	自然観察会	連絡調整室
26.6.23～7.1	鳴門教育大学大学院学校教育研究科	1	昆虫類の試料採集	森林生物研究グループ
26.6.28	西岡ボランティア白樺会	50	自然散策	連絡調整室
26.7.14	札幌市立定山渓中学校	22	理科・社会フィールドワーク	森林生物研究グループ
26.7.16	さわやかノルディック・ウォーク倶楽部	14	ノルディックウォーキング	連絡調整室
26.9.22	豊平公園緑のセンター	5	樹木および自然植生の現地研修	連絡調整室
26.10.28	札幌市豊平区民センター	15	自然ウオッチング	連絡調整室
26.10.21	札幌科学技術専門学校	11	環境調査実習	連絡調整室
26.12.8～ 12.17	株式会社ＮＨＫプラネット北海道支社	4	樹木園および実験林撮影	連絡調整室

②実験林利用者

利用期間	利用者	人数	目　的
26.4.1～ 27.3.31	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	1	冷温帯落葉広葉樹林における炭素吸収ポテンシャルのリモートセンシングを目的に樹冠の長期観測
26.4.1～ 27.3.31	(独)北海道農業研究センター	1	札幌の境界層の発達を画像（スモッグや雲の形成等）により捕捉
26.4.1～11.15	川路則友他	2	森林性鳥類の生態調査および鳥類標識調査
26.4.14～4.18	ＮＨＫエンタープライズ	3	残雪上のコテングコウモリを探索して撮影
26.4.20～ 10.30	酪農学園大学	1	夏鳥の飛来および渡りの観察
26.5.12～5.13	北海道大学低温科学研究所	1	エゾヤマザクラの当年枝サイズと開花量の関係性調査
26.5.12～5.23	北海道科学大学	3	サブタワーから樹木と地上のターゲットをハイパースペクトルカメラで撮影
26.5.24	酪農学園大学	8	野外鳥類調査実習
26.5.31～ 11.15	株式会社　野生生物総合研究所	1	環境省受託鳥類標識調査
26.9.11～ 10.13	札幌キノコの会第六支部	26	きのこの採集
26.10.21	札幌科学技術専門学校	11	環境調査実習

③標本館来館者数

	一　般	学　生	国	都道府県	林業団体	外　国	計
４　月	144	2	4	0	0	1	151
５　月	666	6	3	0	0	0	675
６　月	182	0	0	0	0	0	182
７　月	139	27	4	0	0	11	181
８　月	89	12	0	0	0	0	101
９　月	105	1	0	0	0	2	108
１０　月	179	0	0	0	0	14	193
１１　月	55	0	0	0	0	0	55
１２　月	22	0	0	0	0	0	22
１　月	39	0	0	0	0	0	39
２　月	30	0	0	0	0	1	31
３　月	27	1	0	0	0	12	40
合　計	1,677	49	11	0	0	41	1,778

９．広報活動

①新聞等

内　　容　　等	掲載日	社名
「適応」社会への挑戦⑪　気候変動リスクに備えろ！　【人工林は地域ごと適切な樹種選択を　自然林は適応の条件整え“見守り”が基本】	26.4.2	環境新聞
台風攪乱による落葉広葉樹林の二酸化炭素吸収量の変化　【２００４年の台風による強風で倒壊した北海道の森林の炭素収支を連続観測（フラックス観測）し、大規模攪乱にともなうＣＯ２吸収量の大きな減少と、その後の光合成の回復過程を明らかにした。地球温暖化にともない台風の巨大化が予測されており、将来このような強風被害の増加が危惧されている。】	26.4.15	日本地球惑星科学連合大会ＨＰ
科学　温暖化被害　自治体が対策　【温暖化の影響で衰退が見られる茨城県のブナ林（写真提供）】	26.4.17	読売新聞
森林総合研究所北海道支所主催　　国際生物多様性の日記念シンポジウム「森の木を伐りながら生き物を守る」開催　　【伐採時に一部の木を残すことで生物多様性保全を目指す「部分伐採」の意義や取り組みについて紹介】	26.4.23	花新聞
ほっかいどう歌の風景「アカシアの雨がやむとき／西田佐知子」【アカシアといえば札幌の並木が思い浮かぶ。岩に亀裂が入ったような、ごつごつした木肌。実は明治初期に日本に入ってきた外来種のニセアカシアで、「アカシア」の名称で定着し、歌詞や文学作品でも親しまれている。】	26.5.4	北海道新聞
ブナの北限　北進　北海道南部さらに１２キロ　温暖化との関係注目【北海道南部の黒松内低地帯とされてきたブナ自生地の北限が、さらに１２キロ北にあることが森林総合研究所北海道支所の調査で分かった。】	26.6.4	朝日新聞
疑問氷解「ハチが人をさすのは？」　【働きバチが巣を守るため】	26.6.18	毎日小学生新聞
無人の目、森の変化を「観測」　【森林総合研究所北海道支所は、独自開発の自動撮影装置を利用して、さまざまな機関と共同で、各地の野生動物を「観測」している。】	26.9.19	朝日新聞
スズメバチ活発　駆除増加　【秋の繁殖期でスズメバチの活動が盛んになり、県南を中心に駆除依頼が増加傾向にある。】	26.10.17	読売新聞

ヤナギでバイオマスエネルギー　【ヤナギは北海道で生育しやすいため、バイオマス資源として注目されており、森林総合研究所北海道支所と下川町が共同で研究をしています。】	26.10.22	花新聞
ブナ　北限の先へ　【自生するブナの北限域とされてきた道南の黒松内低地帯周辺からさらに１２キロ北で今春、ブナ４１本の個体群が見つかった。当時調査にあたった研究グループがその後の再調査で、その４倍の約１６０本ものブナを確認した。】	26.12.29	朝日新聞

②テレビ放送

内　　容　　等	放送日	局名
ダーウィンが来た！「突然ですが、ダーウィンニュースです」のコーナーでコテングコウモリの生態について放映	26.6.29	ＮＨＫ総合
さわやか自然百景「冬　札幌　羊ヶ丘の森」	27.1.11	ＮＨＫ総合

③定期刊行物

内　　容　　等	ISSN	発行日	発行部数
平成２７年版北海道支所年報	2187-8730	26.6	オンライン
北の森だよりVol.１３	1882-9627	26.10.16	900
平成26年度森林総合研究所北海道地域研究成果発表会発表集 1.長期気候変動と森林 2.年によって変動する樹木の種子生産 3.台風攪乱－CO_2収支からみた攪乱の影響と回復過程－ 4.洞爺丸台風風倒被害60年後の森林再生－長期モニタリングの意義と成果－ 研究プロジェクト紹介 1.下川町における伐採・造林一貫作業システムの構築－主伐・再造林の低コスト化を目指し 2.トドマツ人工林における保残伐施業の実証実験			
北の森だよりVol.１４	1882-9627	27.3.31	900
研究紹介 1.山岳地域の雪崩による事故防止を目指して 2.空から森林変動を捉える技術－身の丈に合った観測技術を選択する時代に－ 3.北海道の理想の森林			

１０．図書刊行物の収数

区　分	和　書			洋　書			合　計
	購　入	寄　贈	計	購　入	寄　贈	計	
単行書	8冊	29冊	37冊	3冊	2冊	5冊	42冊
逐次刊行物	46誌	244誌	290誌	25誌	9誌	34誌	324誌

11.固定試験地・収穫試験地

①固定試験地

整理番号	試験地名	研究項目	森林管理署	林小班	樹種	面積 ha	設定年度	終了予定年度	調査年度	距離 km	担当研究グループ	区分
札幌 4	苫小牧植生調査試験地	林冠破壊による植生の変化 (風害後の遷移)	胆振東部	1301,い-3 1463,い	ﾄﾄﾞﾏﾂ アカエゾマツ エゾマツ ダケカンバ	1.67 18.74	32	H30	不定期	97.6	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
札幌 7	札幌カラマツ産地試験地	カラマツ産地試験	石狩	41,な・ね	カラマツ	5.84	34	H31	不定期	28.9	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
札幌16	利根別ﾄﾄﾞﾏﾂ人工林収穫試験地	長伐期林分情報の整備方式の開発	空知	41,は	ﾄﾄﾞﾏﾂ	0.9	36	H33	10年毎	49.6	北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
札幌17	万字カラマツ人工林収穫試験地	長伐期林分情報の整備方式の開発	空知	18,ろ	カラマツ	1.1	41	H46	5年毎	75.1	北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
札幌32	ヤチダモ人工林の構造と生長試験地 (3)(4)	長伐期林分情報の整備方式の開発の予測	石狩	41,ほ-20 33	ヤチダモ	1.14 1.13	30 25	H27	5年毎	29.9	北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
札幌51	札幌ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験地	ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験	石狩	58,ぬ 64,た	ﾄﾄﾞﾏﾂ	3.94	42	H29	不定期	39.4	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
札幌54	空沼天然林施業試験地(1)(2)	ﾄﾄﾞﾏﾂ・エゾマツ天然林の生長予測	石狩	1128,は い-1 と 1129,れ ほ へ	ﾄﾄﾞﾏﾂ エゾマツ 広葉樹	2.16 0.99	43 44	H30	5年毎	24.6	北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
札幌61	苫小牧広葉樹試験地	落葉広葉樹林の更新	胆振東部	1205,い	広葉樹類	43.37	50	H31	不定期	80	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A'
旭川 1	枝幸カラマツ産地試験地	カラマツ産地試験	宗谷	6,い	カラマツ	5	34	H32	不定期	403.9	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
旭川 2	大雪植生調査試験地	林冠破壊による植生の変化 (風害後の遷移)	上川中部	260,ろ 276,い 290,い・ろ 320,い・ろ	末立木	1.5	31	H30	不定期	248.4	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
旭川 3	林冠破壊による土壌の変化試験地	森林伐採に伴う設置環境変動と堆積腐植分解との関係	上川中部	260,ろ 276,い 290,い・ろ 320,い・ろ	末立木	1.5	31	H30	不定期	248.4	植物土壌系研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	B
旭川 5	雄信内ﾄﾄﾞﾏﾂ人工林収穫試験地	長伐期林分情報の整備方式の開発	留萌北部	50,い	ﾄﾄﾞﾏﾂ	0.56	38	H27	10年毎	329.4	北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
旭川 8	上川ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験地	ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験	上川中部	141,い	ﾄﾄﾞﾏﾂ	4.47	42	H29	不定期	201.4	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
旭川 9	浜頓別ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験地	ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験	宗谷	1010,ろ・は	ﾄﾄﾞﾏﾂ	9.02	42	H29	不定期	400.8	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
旭川11	大雪原生林植物群落保護林調査試験地	原生林の更新動態	上川中部	254 260	ﾄﾄﾞﾏﾂ アカエゾマツ エゾマツ	2	H11	定めず	不定期	248.4	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
旭川12	士別天然林成長量固定試験地	ﾄﾄﾞﾏﾂ・エゾマツ天然林の成長予測	上川北部	397,い	ﾄﾄﾞﾏﾂ エゾマツ	3.26	H13	定めず	5年毎		北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
旭川13	幾寅天然林成長量固定試験地	ﾄﾄﾞﾏﾂ・エゾマツ天然林の成長予測	上川南部	141,ろ	ﾄﾄﾞﾏﾂ エゾマツ	4	H13	定めず	5年毎		北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
北見 4	エゾマツ・ﾄﾄﾞﾏﾂ天然生林固定標準地	林分成長量の推定及び予測手法に関する研究	網走中部	1041,い	エゾマツ ﾄﾄﾞﾏﾂ 広葉樹	1.96	33	H30	5年毎		北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
北見 6	丸瀬布カラマツ人工林収穫試験地	長伐期林分情報の整備方式の開発	網走西部	1108,う	カラマツ	1.09	42	H46	5年毎	266.5	北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
北見 7	佐呂間ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験地	ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験	網走中部	90,む	ﾄﾄﾞﾏﾂ	4.53	42	H29	不定期	335.4	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
北見 8	津別天然林成長量固定試験地	ﾄﾄﾞﾏﾂ・エゾマツ天然林の成長予測	網走南部	2205,ろ	ﾄﾄﾞﾏﾂ エゾマツ	2.08	H15	定めず	5年毎		北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
帯広 2	清水カラマツ産地試験地	カラマツ産地試験	十勝西部	15,い	カラマツ	4.67	35	H32	不定期	240.9	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
帯広 4	ペケレﾄﾄﾞﾏﾂ人工林収穫試験地	長伐期林分情報の整備方式の開発	根釧西部	77,ろ	ﾄﾄﾞﾏﾂ	1	40	H38	10年毎	482.3	北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
帯広 9	根室ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験地	ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験	根釧東部	1024,い	ﾄﾄﾞﾏﾂ	4.32	44	H29	不定期	500	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
帯広10	弟子屈天然林成長試験地	ﾄﾄﾞﾏﾂ・エゾマツ天然林の成長予測	根釧西部	47,い	ﾄﾄﾞﾏﾂ エゾマツ	8	H15	H34	5年毎		北方林管理研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A
函館 8	函館ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験地	ﾄﾄﾞﾏﾂ産地試験	檜山	2.130,へ と ち	ﾄﾄﾞﾏﾂ	4.43	42	H29	不定期	319.3	森林育成研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ	A

②収穫試験地

整理番号	試験地名	研究項目	森林管理署	林小班	樹種	面積 ha	設定年度	終了予定年度	調査年度	担当研究グループ	区分
札幌16	利根別ﾄﾄﾞﾏﾂ人工林収穫試験地	長伐期林分情報の整備方式の開発	空知	41,は	ﾄﾄﾞﾏﾂ	0.9	S36	H33	10年毎	北方林管理研究グループ	A
札幌17	万字カラマツ人工林収穫試験地	長伐期林分情報の整備方式の開発	空知	18,ろ	ｶﾗﾏﾂ	1.1	S41	H46	5年毎	北方林管理研究グループ	A
旭川 5	雄信内ﾄﾄﾞﾏﾂ人工林収穫試験地	長伐期林分情報の整備方式の開発	留萌北部	50,い	ﾄﾄﾞﾏﾂ	0.56	S38	H27	10年毎	北方林管理研究グループ	A
北見 6	丸瀬布カラマツ人工林収穫試験地	長伐期林分情報の整備方式の開発	網走西部	1108,う	ｶﾗﾏﾂ	1.09	S42	H46	5年毎	北方林管理研究グループ	A
帯広 4	ペケレﾄﾄﾞﾏﾂ人工林収穫試験地	長伐期林分情報の整備方式の開発	根釧西部	77,ろ	ﾄﾄﾞﾏﾂ	1	S40	H38	10年毎	北方林管理研究グループ	A

12. 羊ヶ丘実験林の試験林一覧

No.	試 験 林 名	試 験 項 目	林 班	樹 種	年度	面積 ha	担 当
1	針葉樹病害試験林	病害発生情報の収集・解析と突発性病害発生生態の解明	1-に	ﾄﾄﾞﾏﾂ他	48	0.55	森林生物研究グループ
2	野鳥誘致林	キツツキ類の営巣穴の消失過程の解析及び動態把握	1-へ	ナナカマド他	48	0.62	森林生物研究グループ
3	特用樹試験林	成長調査	1-と	キササゲ他	50	0.61	業務係
4	針・広葉樹造成試験林	成長調査	1-ち	イチイ他	H元	0.50	業務係
5	群落構成試験林	北方系天然林における成長及び更新動態の長期モニタリング	2-は～よ	ハイマツ他	48	10.43	森林育成研究グループ
6	針葉樹人工林試験林	成長調査	3-に、5-へ～ち、5-ぬ、6-と	グイマツ他	48	4.95	業務係
7	針葉樹腐朽病害試験林	立木の腐朽・変色を起こす菌類の生態および宿主との相互作用の解明	3-ほ	カラマツ	H3	0.97	森林生物研究グループ
8	広葉樹人工林試験林	成長調査	3-へ、3-ち～る、4-ろ,5-り、7－に	ミズナラ他	48	6.31	業務係
9	広葉樹人工林試験林	北方林構成樹種の養分の配分・利用特性	3-と	ｳﾀﾞｲｶﾝﾊﾞ	49	0.94	植物土壌系研究グループ
10	土壌環境長期モニタリング試験林	北方林の立地特性と物質循環モデル	4-へ	ﾄﾄﾞﾏﾂ他	48	1.62	植物土壌系研究グループ
11	昆虫多様性試験林	昆虫発生情報の収集と解析	4-と	ﾄﾄﾞﾏﾂ他	48	3.21	森林生物研究グループ
12	虫害解析試験林	昆虫発生情報の収集と解析	4-ち	ﾄﾄﾞﾏﾂ他	48	2.00	森林生物研究グループ
13	生態遷移試験林	森林の更新を制御する因子としてのササの動態及びその被覆の影響の評価	5-ろ,6-ろ,6-ほ	ヤマナラシ他	53	21.19	森林育成研究グループ
14	森林気象試験林	北方系落葉広葉樹林の二酸化炭素動態のモニタリング	5-ろ,6-い～へ,8-い～ろ	ヤマナラシ他	H6	57.13	寒地環境保全研究グループ
15	植栽密度試験林	密度管理技術に基づく長伐期林分の成長・収穫予測の高度化	5-に	ｱｶｴｿﾞﾏﾂ他	48	5.77	北方林管理研究グループ
16	鳥獣生態調査試験林	キツツキ類の営巣穴の消失過程の解析及び動態把握	6-い、へ	ｼﾗｶﾝﾊﾞ他	H5	14.96	森林生物研究グループ
17	広葉樹用材林施業試験林	天然林における択伐施業計画法の改善	6-は～に	ｼﾗｶﾝﾊﾞ他	53	6.31	北方林管理研究グループ
18	針広混交林造成試験林	樹種の環境適応性の生理的特性の解明と評価	7-い～ろ	ｼﾗｶﾝﾊﾞ他	50	14.95	植物土壌系研究グループ
19	ウダイカンバ植栽試験林	成長調査	8-は	ｳﾀﾞｲｶﾝﾊﾞ	62	1.93	業務係

１３．羊ヶ丘の気象

○試験研究の資料として、昭和48年から北海道支所羊ヶ丘観測露場において、気象観測を実施している。
平成26年度の気象概要は以下のとおりである。

１．今年度は気象観測装置の作動不良により、１０月３日から１９日までと１１月１８日から２０日までの２回が欠測となった。
「１．気温」については、欠測日を除いて平均気温等を算出した。

２．目視による初雪は１１月３日で、２６年３月までに積雪した雪は、４月４日に積雪ゼロとなった。

平成２６年度　　気象年報

北緯　　４２度５９分４２秒
東経　１４１度２３分２６秒
標高　１４６．５ｍ

１．気温　（℃）

月	平 均	最高平均	最低平均	極値最高	起 日 時	極値最低	起 日 時
H26. 4	5.8	12.0	-0.3	24.2	26 13:14	-3.9	7 0:34
5	12.7	19.2	6.9	27.5	29 13:34	2.1	19 5:09
6	17.3	22.6	13.3	33.0	4 13:19	9.5	22 3:59
7	21.0	26.5	16.5	31.3	24 15:33	14.0	29 3:23
8	20.7	25.8	16.8	31.1	2 13:21	10.0	26 22:53
9	16.2	21.9	11.7	26.5	5 11:06	7.9	27 0:03
10	8.6	14.0	3.4	20.2	26 11:46	-1.1	22 5:32
11	4.7	9.0	0.2	16.1	5 12:28	-5.2	14 2:10
12	-3.3	0.6	-6.9	10.2	1 18:59	-10.8	26 7:31
H27. 1	-3.6	0.4	-7.4	3.5	6 14:06	-13.4	2 6:11
2	-2.8	0.9	-6.5	7.0	23 12:15	-15.0	6 6:25
3	1.8	6.1	-1.9	14.7	29 13:08	-6.8	1 6:24
年	8.3	13.3	3.8	33.0	6/4 13：19	-15.0	2/6 6:25
極値				35.7	1994/8/7 14:10	-22.8	1978/2/17 3:25

２．降水量 (mm)

３．積雪 (cm)

(×：欠測値)

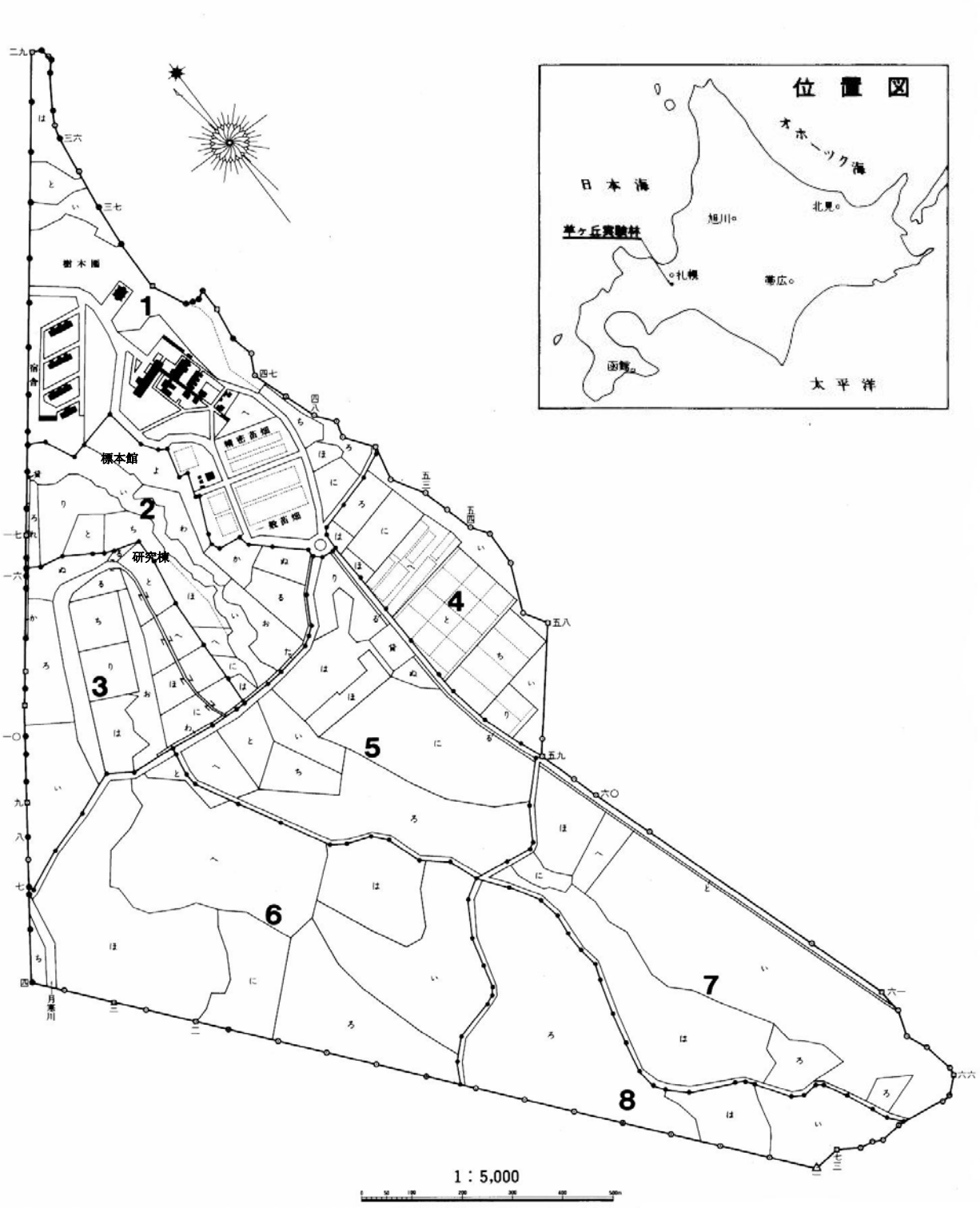
月	総量	最大日量	起日	最大1時間量	起日	最大積雪深	起日
H26. 4	21.0	8.0	10	2.5	10	46	1
5	67.0	38.5	16	4.0	21	-	-
6	87.0	28.0	13	4.5	11	-	-
7	65.5	37.5	27	10.0	27	-	-
8	236.5	73.0	11	19.5	11	-	-
9	193.0	136.0	11	29.5	11	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-
12	92.5	34.5	16	8.0	16	49	16
H27. 1	88.0	15.5	8	4.5	17	110	20
2	53.5	15.0	27	3.0	27	93	15
3	11.5	73.0	10	8.0	10	94	5
年	915.5	136.0	9/11	29.5	9/11	110	1/20

最大値の記録	年降水量	最大日降水量	最大１時間降水量	最大積雪深
最大	1,490.0 (1981)	220.5	51.0	150
最小	572.0 (2008)	1981/8/23	1979/10/4 3:00	2013/3/11

４．風速 (m/sec)

月	平均	最大	風向	起日	最大瞬間	風向	起日
H26. 4	1.9	6.1	SSE	3	16.1	NNW	4
5	1.9	7.8	S	26	17.6	S	3
6	1.7	6.4	SSE	5	15.4	S	5
7	1.5	5.5	S	21	23.8	NNW	27
8	1.3	6.5	SSE	11	17.0	S	11
9	1.5	5.8	SSE	27	14.9	SSW	27
10	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-
12	1.2	6.0	SSE	16	17.4	SSE	16
H27. 1	1.5	6.8	S	27	23.1	NNW	7
2	2.0	6.9	NNW	15	22.9	NW	15
3	1.7	7.1	S	9	22.2	NNW	2
年	1.6	7.8		5/26	23.8		7/27

○羊ヶ丘実験林基本図


位置図
オホーツク海
日本海
旭川
北見
羊ヶ丘実験林
札幌
帯広
函館
太平洋
樹木園
宿舎
標本館
研究棟
苗畑
1
2
3
4
5
6
7
8
月寒川
1：5,000

Ⅵ. 総務

1．沿革

1908 年 （明41）	6月	北海道庁告示第361号によって、江別村大字野幌志文別に内務省野幌林業試験場が設立された。
1927 年 （昭 2）	9月	庁舎を江別町西野幌に新築し、移転した。
1933 年 （昭 8）	1月	北海道林業試験場と改められた。試験部（育林、利用、科学、保護、気象）、庶務部（庶務、会計、売買）。
1936 年 （昭11）	10月	木材利用部新設。森林標本館が設置される。
		10月7日に昭和天皇陛下が行幸され、本場並びに付属試験林を見学された。
1937 年 （昭12）	10月	上川森林治水保安試験所が開設された。
1939 年 （昭14）	8月	釧路混牧林業試験所が開設された。
1940 年 （昭15）	1月	帝室林野局北海道林業試験場が札幌市豊平に設立された。
1945 年 （昭20）	8月	野幌試験林の管理経営を札幌営林署に移管。
1947 年 （昭22）	5月	林政統一により帝室林野局北海道林業試験場と北海道庁所管の北海道林業試験場を合併、林業試験場札幌支場と改められた。
1950 年 （昭25）	4月	上川、釧路両試験所が、それぞれ試験地と名称が変わる。
	7月	札幌営林局付属「森林有害動物調査所」が札幌支場の野鼠研究室になる。
	12月	木材利用部門は、本場に集中される。
1951 年 （昭26）	7月	支場を札幌市におき、分室を西野幌におく（経営部、造林部、保護部、庶務課）
1953 年 （昭28）	10月	野幌の試験設備をすべて札幌市豊平に統合し、北海道支場と改めた。
		野幌試験地が開設された。
1954 年 （昭29）		経営部に牧野研究室新設、調査室が庶務課から分離（昭22新設）、造林部種子研究室が育種研究室に名称変更。
1955 年 （昭30）		保護部病理昆虫研究室が昆虫、樹病研究室に分離増。
1961 年 （昭36）	5月	千歳国有林において植樹祭が行われる。昭和天皇・皇后陛下が支場に行幸された。
	11月	所期の目的が達せられたので、上川試験地は廃止された。
1965 年 （昭40）	4月	経営部牧野研究室が営農林牧野研究室に名称変更。
	9月	所期の目的が達せられたので、釧路試験地は廃止された。
1967 年 （昭42）	6月	会計課が新設された。
1968 年 （昭43）	10月	創立６０周年となり、祝典を行う。
1969 年 （昭44）	4月	造林部造林研究室が造林第１、造林第２研究室に分離増。
1970 年 （昭45）	5月	経営部防災研究室が治山、防災研究室に分離増。
1972 年 （昭47）	5月	羊ヶ丘への移転計画で実験林設置が決定したため、組織上の野幌試験地は廃止された。
		調査室から実験林室が分離増。
1974 年 （昭49）	10月	庁舎が札幌市豊平区豊平から同市豊平区羊ヶ丘へ移転し、施設の新築、整備が行われた。
1975 年 （昭50）	4月	保護部野鼠研究室が鳥獣研究室に名称変更。
1976 年 （昭51）	3月	羊ヶ丘における施設整備を完了した。
	5月	造林部の名称を育林部に変更。
1978 年 （昭53）	10月	創立７０周年となり、一般公開及び祝典を行う。
1981 年 （昭56）	4月	育林部育種研究室、を遺伝育種研究室に名称変更。
1988 年 （昭63）	10月	農林水産省組織規程の一部改正により森林総合研究所北海道支所に改組された。育林部造林第１研究室、造林第２研究室はそれぞれ樹木生理研究室、造林研究室となり、経営部経営研究室、営農林牧野研究室はそれぞれ天然林管理研究室、経営研究室となった。また経営部治山研究室と防災研究室は統合減となり、防災研究室となった。
	10月	創立８０周年となり、記念植樹を行う。
1998 年 （平10）	10月	創立９０周年となり、一般公開及び祝典を行う。
2001 年 （平13）	4月	独立行政法人森林総合研究所北海道支所となり、組織が変更となった。部制、会計課及び研究室が廃止され、研究調整官、地域研究官、庶務課長補佐、５チーム長、５研究グループ（森林育成・植物土壌系・寒地環境保全・森林生物・北方林管理）が新設された。
2006 年 （平18）	4月	実験林室を連絡調整室へ統合し、業務係を新設した。
2007 年 （平19）	4月	庶務課職員厚生係を庶務係へ統合した。
2008 年 （平20）	10月	創立１００周年となり、記念植樹及び式典を行った。
2010 年 （平22）	10月	育種調整監を新設した。
2011 年 （平23）	4月	研究調整監を産学官連携推進調整監に名称変更。
2011 年 （平23）	9月	11日、札幌市内にて開催の「国際微生物学連合２０１１会議」ご臨席のためご来道された天皇陛下が、当所標本館をご視察なさる。

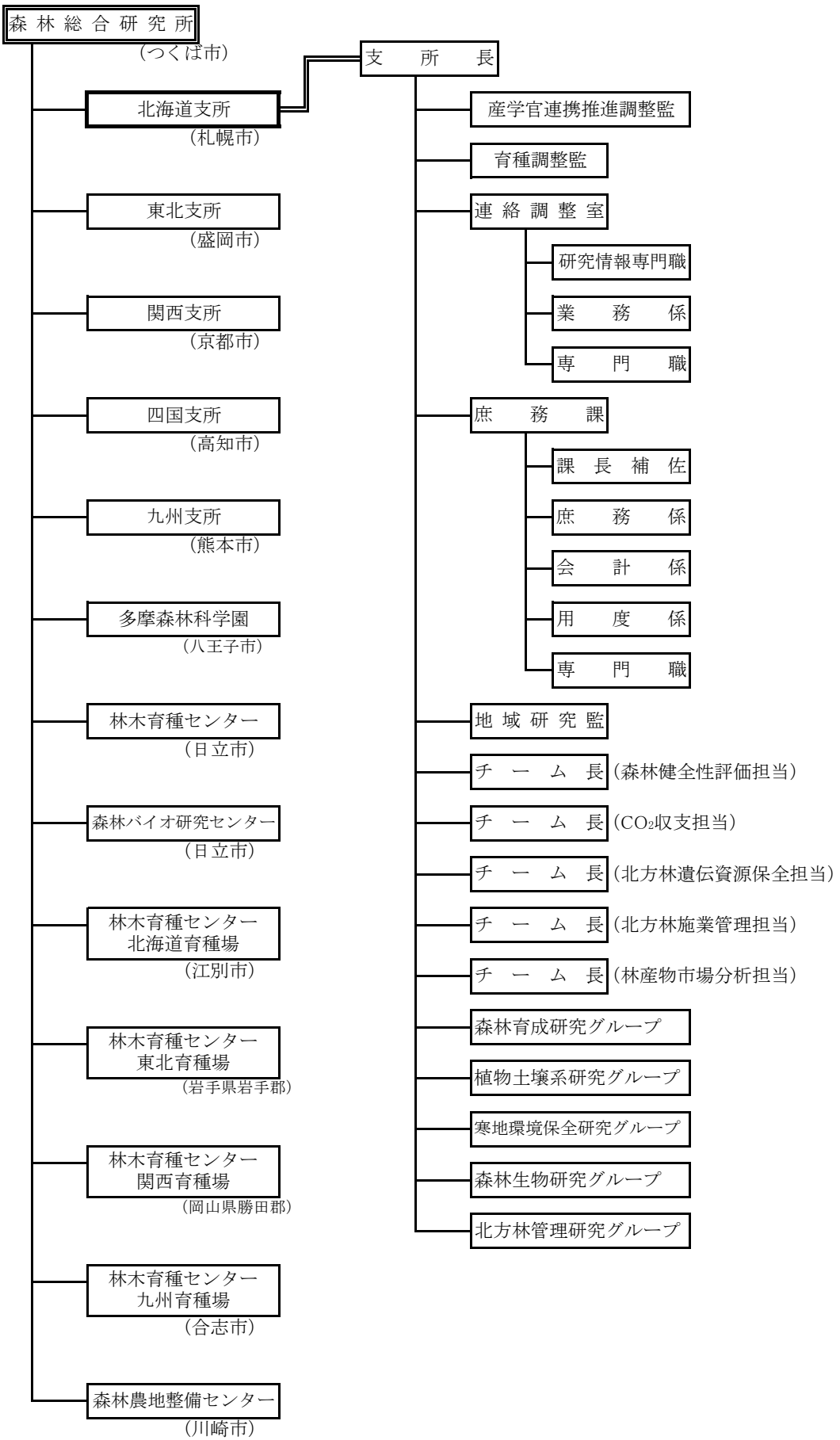
２．土地・施設

○敷地・建物面積

（単位：㎡）

区　　分	土　地　・　建　物		備　　考
	構　造	面　積	
土　地		1,721,394	
建物敷地		55,668	
樹木園		62,900	
苗畑		38,590	
試験林ほか		1,564,236	
建　物（延）		7,784	
研究本館	ＲＣ－３	3,893	昭和49年8月10日　建築
特殊実験室	ＲＣ－１	848	昭和48年4月1日　建築
生物環境調節実験施設	ＲＣ－１	377	昭和49年10月12日　建築
野兎生態実験室	ＲＣ－１	142	昭和48年4月1日　建築
鳥類屋外実験室	ＲＣ－１	56	昭和49年10月12日　建築
温室	Ｒ　－１	300	昭和49年10月12日　建築
樹病隔離温室	Ｒ　－１	135	昭和49年10月12日　建築
日長処理施設	Ｒ　－１	129	昭和49年10月12日　建築
苗畑調査実験室	ＲＣ－２	345	昭和48年4月1日　建築
鳥獣飼育場	Ｒ　－１	222	平成15年12月18日　建築
標本館	ＲＣ－１	392	昭和49年10月12日　建築
その他		945	

３．組織（平成２６年４月１日現在）



４．職員の異動（平成２６年４月２日～平成２７年４月１日）

○採用

発令月日	氏　　名	新所属	旧所属
27.4.1	松浦友紀子	主任研究員 （森林生物研究グループ）	

○採用(転籍)

発令月日	氏　　名	新所属	旧所属
27.4.1	佐々木卓磨	連絡調整室業務係長	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター

○採用（再雇用）

発令月日	氏　　名	新所属	旧所属
27.4.1	近藤　洋美	庶務課	
27.1.1	平川　浩文	連絡調整室	

○転入

発令月日	氏　　名	新所属	旧所属
27.4.1	石橋　靖幸	チーム長（野生動物管理担当）	関西支所チーム長 （野生鳥獣類管理担当）

○転出

発令月日	氏　　名	新所属	旧所属
27.4.1	倉本　惠生	森林植生研究領域チーム長 （花粉動態担当）	主任研究員 （森林育成研究グループ）

○配置換

発令月日	氏　　名	新所属	旧所属
27.4.1	佐藤　正人	庶務課専門職	連絡調整室専門職

○退職(転籍)

発令月日	氏　　名	新所属	旧所属
27.3.31	土谷　直輝	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター	庶務課

○退職

発令月日	氏　　名	新所属	旧所属
26.6.30	佐藤　孝一		連絡調整室業務係長
27.1.31	金指あや子		主任研究員 （森林育成研究グループ）

○退職（定年）

発令月日	氏　　名	新所属	旧所属
27.3.31	近藤　洋美		庶務課専門職
27.3.31	田中　信行		地域研究監
27.3.31	平川　浩文		主任研究員 （森林生物研究グループ）

○退職(任期満了)

発令月日	氏　　名	新所属	旧所属
27.3.31	松浦友紀子		任期付研究員 （森林生物研究グループ）

５．職員名簿（平成２７年４月１日現在）

支所長	研究職	牧野 俊一
産学官連携推進調整監	研究職	佐々木尚三
育種調整監（併任）	一般職	今井 啓二
（林木育種センター北海道育種場長）		
連絡調整室長	一般職	室谷 邦彦
研究情報専門職	〃	山本 健一
専門職	〃	寺田 絵里
業務係長	〃	佐々木卓磨
係 員	技術専門職	長澤 俊光
再雇用		平川 裕文
庶務課長	一般職	坂上 勉
課長補佐	〃	渡邊 謙一
庶務係長	〃	横濱 大輔
専門職	〃	佐藤 正人
会計係長	〃	神田 光紀
用度係長	〃	内山 拓
専門職	〃	吉田 厚
再雇用		近藤 洋美
地域研究監	研究職	
チーム長	研究職	山口 岳広
（森林健全性評価担当）		
チーム長	〃	韓 慶民
（CO_2収支担当）		
チーム長	〃	石橋 聡
（北方林施業担当）		
チーム長	〃	嶋瀬 拓也
（林産物市場分析担当）		
チーム長	〃	石橋 靖幸
（野生動物管理担当）		

森林育成研究グループ長	研究職	飯田 滋生
主任研究員	〃	北村 系子
主任研究員	〃	関 剛
〃	〃	津山幾太郎
植物土壌系研究グループ長	研究職	相澤 州平
主任研究員	〃	上村 章
〃	〃	橋本 徹
〃	〃	伊藤江利子
〃	〃	原山 尚徳
寒地環境保全研究グループ長	研究職	山野井克己
主任研究員	〃	溝口 康子
〃	〃	延廣 竜彦
森林生物研究グループ長	研究職	尾崎 研一
主任研究員	〃	石原 誠
〃	〃	佐山 勝彦
〃	〃	松浦友紀子
北方林管理研究グループ長	研究職	八巻 一成
主任研究員	〃	古家 直行

研究職	25 名
一般職	12 名
技術専門職	1 名
再雇用職員	2 名

（併任を除く）

６．事業予算額

（１）　事業予算額

（単位：千円）

事　業　科　目　名			予　算　額
事業費			**10,619**
	一般研究費		**8,143**
		A／北海道	2,420
		B／北海道	1,224
		D／北海道	1,390
		E／北海道	978
		F／北海道	783
		G／北海道	1,258
		I／北海道	90
	特別研究費		**1,847**
		交プロ／北海道	1,847
	基盤事業費		**629**
		基盤／北海道	629
政府等受託事業費			**15,544**
	農林水産省受託事業費		**12,278**
		農林水産技術会議事務局受託事業	11,848
		林野庁受託事業	430
	環境省受託事業費		**3,266**
		地球環境保全等試験研究費	2,323
		環境研究総合推進費受託業務	943
政府外受託事業費			**2,244**
		特殊法人等受託事業費	**1,132**
		特殊法人等受託事業費（委託元政府外）	**1,112**
科学研究費補助金			**25,620**
農林水産省補助事業			**3,400**
林野庁補助事業			**100**
研究管理費			**39,292**
一般管理費			**45,849**
合　　計			**142,668**

（２）　収入契約

（単位：千円）

事 業 科 目 名		予　算　額
事業収入		
	調査等依頼収入	1,166
事業外収入		
	資産貸付収入	94
合　　計		**1,260**

2016 年 6 月発行　　平成 27 年版　森林総合研究所北海道支所年報

編集・発行　　独立行政法人森林総合研究所北海道支所（担当：連絡調整室）
〒062-8516　北海道札幌市豊平区羊ヶ丘 7 番地
TEL(011)851-4131　　FAX(011)851-4167
URL　http://www.ffpri.affrc.go.jp/hkd

本誌から転載・複写する場合は、森林総合研究所北海道支所の許可を得て下さい。

表紙写真：森林総合研究所北海道支所　研究本館